

附錄 日本外交文書 大正八年第一冊 日附索引

大正八年（西曆一九一九年）第一冊 日附索引

一 月

事項番号 文書番号

電信
書信
番号

一五 四五四 一月三日 五 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

英国外務次官補ニ対シ
シボルチャック及セメ
ノフ間妥協問題ニ関スル
日本……四七九
政府ノ態度説明及西比利
亜派遣日本軍減員決定ノ旨
通報ノ件

一七 五七二 一月三日 二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

シペリアヨリノ日本軍ノ減兵決定ヲ
仏国政府ニ内告ノ件 ……六〇六

一四 四二二 一月四日 三 在本邦英国大使ヨリ
内田外務大臣宛

露国内ノ各政権ニ対シ
即刻戦闘停止方及講和會議ニ代表派遣方ノ通牒ヲ
発セントスル英国政府ノ提議ニ付日
本政府ノ意見問合ノ件 ……四三六

一一 三四七 一月六日 政公信五 在智利国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛

秘露国ニ於ケル亜細亞人排斥法案ニ
関スル件 ……三四七

附屬書

大正七年十月二十二日附田付公使發秘露外相宛書柬訳文……三四七

一四 四二二 一月六日 内田外務大臣ヨリ
在本邦英国大使宛

露国内各政権ニ対シ
通牒發送方ニ関スル英国政府ノ提議ニ異議ナキ旨
回答ノ件 ……四三八

一五 四五五 一月六日 日本外務省ヨリ
在本邦英国大使館宛

ホルワット及セメノフニ
対スル援助取止ヲ要請セル
在本邦英国大使館覺……四七九
書ニ回答ノ件

一五	四五六	一月 六日	七	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	コルチャック及セメノフ妥協問題ニ 付オールストン来談ノ件	四八二
一四	四二三	一月 九日	一七 四〇七	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使 在浦潮松平政務部長 (電報) 在ハルビン松島総領事	露国内各政權ニ対シ通牒発送方ニ関 スル英國政府ノ提議ニ異議ナキ旨回 答シタルニ付通報ノ件	四三九
一五	四五七	一月 九日	一四	在ハルビン松島総領事代理ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	オムスクヨリハルビンニ帰任方佐藤 総領事請訓ノ件	四八四
一五	四五八	一月 十日	一六	在ハルビン松島総領事代理ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	セメノフ問題解決ニ関シ日本政府ハ 断乎タル処置ヲ執ル必要アリトノ意 見佐藤総領事ヨリ具申ノ件	四八四
一七	五七三	一月 十日	一七	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	黒竜州ヨリノ日本軍減兵ヲ延期スル 様生ヨリ意見具申ノ件	六〇七
一四	四二四	一月 十三日		在本邦英國大使館ヨリ 日本外務省宛	講和會議ニソグイエト代表招請ハ同 政府承認ヲ余儀ナクスベキニ付 ハ英國政府ノ提議ニ反対ノ意向ナル 旨通報越ノ件	四三九
一四	四二五	一月 十三日	二〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	講和會議ニソグイエト政府及露国内 各政府ノ代表派遣ヲ認メントスル英 國提議ニ対シ仏國政府反対並仏國新 聞論調ニ付報告ノ件	四四〇
二	二三	一月 十四日	一	在ポートランド木村領事館事 務代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オレゴン州議會下院ニ外国人土地所 有禁止法案提出ノ件	二三
一二	三六五	一月 十四日	九	在サンパウロ松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛	新井書記生サントス出張復命書進達 ノ件	三六〇

附屬書

一月十四日附右復命書

三六〇

附記一

大正七年一月五日附在サンパウロ松村総領事ヨリ本野外
務大臣宛通公第一号

三六〇

新来移民保護監督ノ為サントス港ニ出張セル荒井書記生 復命書送付ノ件	三六二
二 大正七年七月二十五日附在サンパウロ松村総領事ヨリ後 藤外務大臣宛通公第一〇号荒井通訳官サントス出張復 命書送付ノ付	三六六

一四	四二六	一月 十五日	三四	在瑞典国日置公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	極東ニ於ケルボルシェヴィキノ活動 ニ対シ警戒的態度強化ニ付具申ノ件	四四一
一七	五七四	一月 十五日	二四	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	「ハバロウスクー」ニ於テ日本海軍ノ 押収セル露国船艦ノ処分ニ関スル日 本政府ノ意向問合ノ件	六〇八
二	二四	一月 十六日	二	在ポートランド木村領事館事 務代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オレゴン州下院ノ外国人土地所有禁 止法案ノ要領及其対策ニ付報告ノ件	二三
一四	四二七	一月 十七日	二五	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	講和會議ニ露国内各政權代表招請ニ 関スル英國政府提議ヲ見合セタル旨	四四二
一五	四五九	一月 十七日	二八	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	セメノフ及コルチャック間調停問題 ニ関スル我方申入ニ付英國外相代理 ヨリ覚書受領ノ件	四八五
一七	五七五	一月 十七日	二八	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスクニ於テ英仏露軍憲ガ東露及 バイカル以西ノ軍事行動統一ノ為協 議決定セル内容ニ関スル情報報告ノ 件	六〇八

二	二五	一月十八日	三	在ポルトランド木村領事館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	オレゴン在留英国人ノ外国土地所有禁止法案反対並商業會議所役員会ノ該法案通過防止決議ノ件……………二三
一五	四六〇	一月二十日	三七	在ハルビン松島総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	セメノフノ蒙古独立計画ニ関スル情報在チタ古沢副領事ヨリ報告ノ件……………四八六
一五	四六一	一月二十一日	四二	在ハルビン松島総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	連合国側ノ画策ヲ排シ我方ノセメノフ援助強化方ニ付在チタ古沢副領事ヨリ具申ノ件……………四八六
二	二六	一月二十四日	機密公二	在ポルトランド木村領事館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛	オレゴン州議會ニ提出サレタル外国土地所有法案通過阻止運動ニ関スル件……………二四
一一	三四八	一月二十四日	六	在里馬齋藤領事ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	森岡移民会社及秘露バラモンガ耕地間移民供給契約承認ノ旨報告ノ件……………三四八
一四	四二八	一月二十四日	四四	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	連合国代表者ト露国内各政權代表者トノプリンセス島会见ノ報道ニ関スル英国各紙ノ論調報告ノ件……………四四三
一七	五七六	一月二十四日	四三	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	東露及西部西比利亞ニ於ケル聯合國軍隊ノ総指揮官ニ「ジャナン」將軍……………六〇九
一四	四二九	一月二十六日	八〇	在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	プリンセス島會議ノ提唱ニ対スル米國ノ新聞論調報告ノ件……………四四三
七	二二四	一月二十七日	四六	在浦潮菊池総領事ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	日露漁業協約改縮問題ニ関スル浦潮新聞論調報告ノ件……………一九七

附記一 通商局意見書

日露漁業協約改縮準備委員會設置ノ件……………一九八

二	右委員會委員任命案……………一九八
三	右委員會委員補欠任命案……………一九八

一二	三六六	一月二十七日	政機密三	在伯国堀口公使ヨリ 内田外務大臣宛	対伯国啓発運動ノ為必要ナル機密費支出方稟請ノ件……………三七一
一四	四三〇	一月二十七日	閣議決定	閣議決定	対露方針要綱決定ノ件……………四四四

附記 陸軍省ノ対露方針……………四四五

二	二七	一月二十八日	四	在ポルトランド木村領事館事務代理ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	オレゴン州議會ニ提案ノ外国土地所有法案ニ反対スル「オレゴニアン」紙ノ社説報告ノ件……………二六
七	二二五	一月二十八日	通合送一五六	田中通商局長ヨリ 鶴見水産局長露領水産組合組長各宛	日露漁業協約改縮問題ニ関スル露國新聞記事ニ関スル件……………一九九

一〇	二八三	一月二十八日	公一六	在ヴァンクーヴァー浮田領事ヨリ 内田外務大臣宛	カナダ在留敵国人ノ追放問題ト其目的ニ関スル件……………二九二
----	-----	--------	-----	----------------------------	--------------------------------

一七	五七七	一月二十八日	四七	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	在「ハバロフスク」「カルミコフ」支隊ノ大部分ガ隊長ニ坂キ約三百名ノ米國司令部ニ逃込ミタル旨報告ノ件……………六一〇
----	-----	--------	----	-----------------------------	---

一一	三四九	一月二十九日		森岡移民会社ヨリ 内田外務大臣宛	秘露國バラモンガ耕地行契約移民及森岡移民会社間書面契約案承認願出ノ件……………三四八
----	-----	--------	--	---------------------	--

一七	五七八	一月二十九日	五二	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	在「ハバロフスク」「カルムイコフ」支隊ヨリ離反シ米軍司令部ニ逃込ミタル騎兵百、砲兵二百ノ処置ニ関スル件……………六一〇
----	-----	--------	----	-----------------------------	---

九	二七九	一月三十日	機密公三	在シドニー清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛	濠洲永住本邦人ニ語学試験免除証書 發給方ニ関シ続報ノ件	二六一
二	二八	一月三十一日	三	内田外務大臣ヨリ 在ポルトランド木村領事館事 務代理宛(電報)	オレゴン州外国人土地所有禁止法案 ガ州憲法違反ナリトノ所論ニ関シ其 ノ根拠等取調方訓令ノ件	二七
一〇	二八四	一月三十一日	三	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英領コロンビア州議會開会及政府提 出議案等ニ関スル件	二九二
一二	三六七	一月三十一日	通公二二	在サンパウロ松村総領事ヨリ 内田外務大臣宛	成瀬書記生サントス出張復命書進達 ノ件	三七二
				附屬書 一月三十日附右復命書		三七三

二 月

二	二九	二月一日	五	在ポルトランド木村領事館事 務代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オレゴン州外国人土地所有禁止法案 ガ州憲法違反ナリトノ所論ノ根拠等 取調ノ結果報告ノ件	二七
一四	四三一	二月三日	六四	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	プリンセス島會議ノ提議ニ対スル浦 潮新聞論調報告ノ件	四四五
一〇	二八五	二月四日	公二六	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	東洋人排斥運動及敵国人放逐運動ニ 関スル件	二九三

附屬書 一月三十一日附「ミッシェン」日本人農会中島領造ヨリ在
晚香坡浮田領事宛書翰写

「ミッシェン」ニ起リタル日本人土地所有權剝奪問題ニ関 スル件	二九五
-----------------------------------	-----

一四	四三二	二月四日	六四、六 五、六六	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	プリンセス島會議ノ提議ニ対シ北露 政府ヨリ抗議書提出ノ件(一)(二)(三)	四四六
二	三〇	二月五日	七	在ポルトランド杉村領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オレゴン州外国人土地所有禁止法案 下院委員會ニテ握潰シニ決定ノ件	二八
七	二二六	二月五日	高秘収 四八九	俵北道庁長官ヨリ 床次内務、内田外務、山本農 商務各大臣宛	日露漁業協約改締運動ニ関シ報告ノ 件	一九九
一四	四三三	二月七日	七九	在瑞典国日置公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	プリンセス島會議ニ対スルボルシエ ヴィキ諸派ノ態度ニ関スル件	四四八
一一	三五〇	二月八日	一〇〇七	田中通商局長ヨリ 田中視察總監宛	秘露国パラモンガ耕地行契約移民及 森岡移民会社間書面契約案承認指令 ノ件	三四九

附屬書 書面契約案承認指令

二	三一	二月十日	機密 三	在ポルトランド杉村領事ヨリ 内田外務大臣宛	オレゴン州外国人土地所有禁止法案 握潰シトナリタル件	二八
一〇	二八六	二月十日	公二九	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	東洋人排斥問題ニ関シ在オタワ古谷 総領事ニ通報ノ件	二九七
一四	四三四	二月十日	五五	内田外務大臣ヨリ 在英国永井臨時代理大使宛 (電報)	プリンセス島會議開催ニ対スル日本 政府ノ態度並我政府決定ノ対露国大 体方針ニ関シ訓令ノ件	四四九
一〇	二八七	二月十一日	公信三五	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	敵国人追放及敵国移民来住禁止ニ関 シ英領コロンビア州議會決議ノ件	二九八

一〇 二八八 二月十二日 機密公二
在ヴァンクーヴァー浮田領事
内田外務大臣宛
二九九
一四 四三五 二月十二日 機密一七
在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛
シベリア問題ニ関スル意見書進達ノ
件
四四九

附屬書 右意見書

四五〇

一七 五七九 二月十三日
在満第七師団長ヨリ
参謀総長宛(電報)
中国第十九旅ノ西北利亜派遣駐劄計
画ニ対シ反対意見具申ノ件
六一一

一七 五八〇 二月十四日 浦参
由比浦潮派遣軍参謀長ヨリ
参謀次長宛(電報)
黒竜江州「セミヤノフカ」附近ノ討
伐戦ニ於ケル米軍ノ協力拒否ノ回答
ニ関スル件
六一一

一〇 二八九 二月十七日 四
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
住宅建築法案中ノ家屋建築ニ東洋人
使役禁止条項追加ノ修正案ニ関シ請
訓ノ件
三〇〇

一六 五〇三 二月十七日 一三八
在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日本ノオムスク政府援助ト其代償ニ
関スル新聞報ニ付報告ノ件
五三二

二 三二 二月十八日 一〇
在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
アイダホ州議會下院ガ学校ニ於テ外
国語ニ依ル教授制限法案可決ノ件
二九

一〇 二九〇 二月十八日 機密公四
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛
住宅建築法案中ニ東洋人排斥条項挿
入方ノ修正案提出サレタルニ付請訓
ノ件
三〇〇

一六 五〇四 二月十九日 浦参
浦潮軍参謀長ヨリ
参謀次長宛(電報)
ホルワットノ勢力衰退ニ付日本ハオ
ムスク政府支持策強化及極東産業復
興ヲ急務トスル旨具申ノ件
五三二

一〇 二九一 二月二十日 五
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
住宅建築法案中ニ東洋人排斥条項挿
入ヲ防止スル様努力スベキ旨首相ヨ
リ回答越ノ件
三〇二

一〇 二九二 二月二十日 機密公七
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛
住宅建築法案中ニ東洋人排斥条項挿
入方ノ修正案提出ニ付続報ノ件
三〇二

一七 五八一 二月二十日 一四〇
在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
在露米軍撤退問題ヲ繞ル米國議會ニ
於ケル論議報告ノ件
六二二

一五 四六二 二月二十一日 一一五
在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
オムスク政權支持ノ必要等ニ付佐藤
総領事及ホルワット間会谈報告ノ件
四八七

二 三三 二月二十三日 機密公五
在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛
オレゴン州議會ノ制定シタル学校ニ
於テ外国語ニ依ル教授制限法ニ関ス
ル件
三〇

一〇 二九三 二月二十五日 公 四六
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛
カナダ渡航日本移民数ニ関スル領議
員ノ発言訂正ヲ求メタル旨オタワ總
領事ニ通報ノ件
三〇三

一〇 二九四 二月二十五日 公 四七
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
内田外務大臣宛
敵國人追放及外國移民入国禁止ニ関
シ在オタワ總領事ニ通報ノ件
三〇四

一〇 二九五 二月二十六日 三
内田外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー浮田領事
宛(電報)
住宅建築法案中ノ東洋人使役禁止条
項追加修正案ニ関シ回訓ノ件
三〇四

一五 四六三 二月二十七日 八七六
内田外務大臣ヨリ
在浦潮松平政務部長在ハルビ
ン佐藤総領事各宛(電報)
連合國側ノ対過激派親近態度ガオム
スク政府ノ日本ニ対スル利権提供軍
事の援助要望ノ結果ヲ招キタリトス
ル情報ニ付探聞方訓令ノ件
四八八

一七 五八二 二月二十七日 浦軍謀二
由比浦潮派遣軍参謀長ヨリ
幣原外務次官宛
西比利亞派遣ノ米國軍ガ露國社会党
及過激派支持ニ偏向シツアル状況
ニ付報告ノ件
六一二

二 三四 二月二十八日 機密公五
在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛
オレゴン州議會通過ノ漁業法修正法
ニ関スル件
三一

一〇 二九六 二月二十八日 機密公八
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ 日本移民入国数ニ関シ加奈陀首相へ……………三〇五
内田外務大臣宛 通報ノ件

一〇 二九七 二月二十八日 公信五〇
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ 日本移民入国数ニ関シオタワ総領事……………三〇七
内田外務大臣宛 ニ通報ノ件

三 月

二 三五 三月一日 一四
在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三二
二 三六 三月二日 二九
在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三二
一〇 二九八 三月二日 六
在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ 英領コロンビア州議會ニ提出案中ノ……………三〇七
内田外務大臣宛(電報) 最低賃銀ニ関スル件
一五 四六四 三月三日 一〇八
在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………四八八
府ヨリノ来翰ニ関スル件
コルチャック政府ヲ援助シセメノフ
ノ妨害排除ノ必要ヲ指摘セル英國政

別 電 同日在英國永井臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第一〇

九号

……………四八八

右英國政府来翰ノ大要

一〇 二九九 三月四日 公六〇
在ヴァンクーヴァー浮田領事
内田外務大臣宛……………三〇八
英領コロンビア州議會ニ於ケル外国
人入国拒絶決議案通過ニ付在オタワ
領事ニ報告シタル件
一〇 三〇〇 三月四日 公信六二
在ヴァンクーヴァー浮田領事
内田外務大臣宛……………三〇九
B、C、州議會ニ於ケル外国人入国
拒絶決議ニ関連シ外国移民ノカナダ
化教育論等報告ノ件
一五 四六五 三月六日 一七一
在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………四九〇
セメノフ審査委員一行チタ到着ニ関
シ古沢副領事ヨリ報告ノ件
一七 五八三 三月七日 浦参
由比浦潮派遣軍参謀長ヨリ
参謀次長宛(電報)……………六一四
激派政策ニ関シ稲垣少将ニ語レルヲ
在浦潮参謀長ヨリ報告ノ件
三 七〇 八月三日 三一
在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………六四
米国上院議員フィラン氏ノ写真結婚
ニ依ル日本婦人ノ渡米ヲ攻撃スル談
話報告ノ件
三 七一 三月八日 公五〇
在ロスアンゼルス大山領事ヨリ
内田外務大臣宛……………六四
米国上院議員フィラン氏ノ写真結婚
ニ依ル日本婦人入国攻撃ノ談話ニ
関シ報告ノ件
三 七二 三月八日 公九六
在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛……………六五
写真結婚ニ依ル日本婦人ノ渡米攻撃
ノフィラン談話及之ニ對スル日本
人会書記長ノ弁駁報告ノ件
一五 四六六 三月八日 一七八
在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………四九〇
「コルチャック」ヨリ「ホルワット」
ヲ電招シタル旨オムスク政府外相代
理松島ニ談話ノ件
一二 三六八 三月十日 通公二六
在サンパウロ松村総領事ヨリ
内田外務大臣宛……………三七五
氏名詐称渡伯ノ移民ニ関スル件……………
一五 四六七 三月十一日 一七九
在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………四九一
「ホルワット」ノオムスク行ニ関ス

二	三七	三月十二日	三六	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外国人ノ財産所有權ニ關スルコロラ ド州憲法改正案ハ日本人排斥ヲ目的 トストノ情報報告ノ件……………三三
一五	四六八	三月十二日	一九二	在ハルビン佐藤総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	セメノフ問題其他ニ付松島総領事コ ルチャックト会谈ノ件……………四九一
一七	五八四	三月十二日	閣議案		西比利亞ニ於ケル日本軍隊ノ露國過 激派ニ對スル態度ニ關スル日本政府 ノ方針ノ件……………六一六
二	三八	三月十三日	機密公七 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	外人ノ財産所有權ニ關スルコロラド 州憲法改正案ノ目的ニ付報告ノ件……………三三	
四	一七三	三月十三日	拓秘 六二二 古賀拓殖局長官ヨリ 幣原外務次官宛	英国ニ於ケル一般的最惠国條款ヲ包 有スル通商条約廢棄問題及原料問題 ニ關スル件……………一二八	
一〇	三〇一	三月十三日	一七	在オタワ古谷総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ルミュー協商ニ於ケル再渡航移民ノ 携帯スル妻子ノ中ニハ妻子呼寄ヲ含 マザルヤニ付請訓ノ件……………三二〇
一〇	三〇二	三月十三日	九	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	住宅建築法案中ニ東洋人排斥条項挿 入案撤回ノ件……………三二一
二	三九	三月十四日	四〇	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外人ノ財産所有權ニ關スルコロラド 州憲法改正案提出ノ動機、排日之差 別待遇ノ意図ノ有無調査方在米大使 ヨリ訓令越ノ件……………三五
八	二五一	三月十五日	通 二〇	在ニコラエウスク石田領事代 理ヨリ 内田外務大臣宛	尼港地方ノ一部漁業家ガ本年度漁場 經營ノ準備ヲ手控ヘ居ル事情報告ノ 件……………二二〇

一〇	三〇三	三月十五日	一九	在オタワ古谷総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	B、C、州議員領議會ニ於テ日本移 民問題ニ言及シタルニ付移民大臣ニ 説明シタル件……………三二一
一〇	三〇四	三月十五日	機密公 一一	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	住宅建築法案中ニ東洋人排斥条項挿 入方ノ修正案撤回ノ件……………三二一
一〇	三〇五	三月十六日	公信六八	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	B、C、州議會農業委員會ノ東洋人 排斥決議ニ關スル件……………三二二
一〇	三〇六	三月十六日	公 七〇	在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 内田外務大臣宛	大戦古兵協會ニ於テ東洋人入国禁止 決議ノ件……………三二三
一〇	三〇七	三月十七日	五	内田外務大臣ヨリ 在ヴァンクーヴァー浮田領事 宛(電報)	ルミュー協商ニ於ケル再渡航移民中 ニハ妻子呼寄ヲ含ム旨在オタワ総領 事ニ回訓ノ件……………三二四
一一	三五一	三月十七日		森岡移民会社ヨリ 内田外務大臣宛	秘露国カニエテ耕地行契約移民及森 岡移民会社問書面契約案承認願出ノ 件……………三五〇
一五	四六九	三月十七日	一二	在オムスク松島総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	セメノフ問題ヲ解決シ日本及オムス ク両政府間關係ヲ円滑ナラシムル方 大局上得策ナルベキ旨稟申ノ件……………四九二
二	四〇	三月十九日	機密 九	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	コロラド州憲法改正提案ノ目的及動 機ニ關スル件……………三五
二	四一	三月二十日	四一	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外人ノ財産所有權ニ關スルコロラ ド州憲法改正案ハ州議会上院委員會 ニ於テ握潰サレントノ情報報告ノ件……………三七

附屬書 同日太田総領事発石井大使宛機密華第六号写……………三六

二 四二 三月二十一日 機密公 一〇 在桑港太田総領事ヨリ 外国人ノ財産所有権ニ関スルコロラ
内田外務大臣宛(電報) 州憲法改正案形勢ニ関スル件三八

附屬書 同日太田総領事宛在米大使宛機密華第七号写三八

一〇 三〇八 三月二十一日 公信七七 在ヴァンクーヴァー浮田領事 日本移民入国数ニ関シ在オタワ総領
内田外務大臣宛 事へ報告ノ件三二四

一〇 三〇九 三月二十一日 号外 在ヴァンクーヴァー浮田領事 日本移民問題ニ関シ在オタワ総領事
田中通商局長宛 ニ報告ノ件三一五

一 一 三月二十二日 一九 在ポートランド杉村領事ヨリ 人種の差別無キ移民政策ノ採用ヲ主
内田外務大臣宛(電報) 張スル「オレゴニアン」社説報告ノ件一

五 一七六 三月二十四日 二〇 在本邦仏国大使ヨリ 日仏通商航海条約廃棄問題ニ関スル
内田外務大臣宛 仏国ノ希望ニ対シ日本側ノ為シタル
決定ニ付問合並附屬議定書ハ本年四
月十日ヨリ起算シ廃棄ノ旨通告ノ件一四九

一〇 三二〇 三月二十四日 在ヴァンクーヴァー浮田領事 中国移民及日本移民ニ関シ在オタワ
田中通商局長宛 総領事ニ報告ノ件三二七

附屬書 三月二十四日附在晚香坡浮田領事ヨリ在「オタワ」古谷總
領事宛書翰写三二七

八 二五二 三月二十五日 水七五七 村上水産局長ヨリ 露領水産組合ヨリ同組合事業船ノ露
田中通商局長宛 領寄港方願出アリタルニ付依頼ノ件三三一

附屬書 三月一日小島露領水産組合組長ヨリ村上水産局長宛書信写三三一
組合事業船ノ露領寄港方ニ関スル件三三一

附記 農商務省ノ露領水産組合補助計画要領三三二

一〇 三一一 三月二十七日 二二 在オタワ古谷総領事ヨリ 議會ニ於テ移民大臣移民法改正案提
内田外務大臣宛(電報) 出予告ノ件三二八

一〇 三一二 三月二十八日 二四 在オタワ古谷総領事ヨリ カナダ移民法改正案ニ於テ日本人ニ
内田外務大臣宛(電報) 対シ区別の条項ヲ見ルニ至ラザル様
尽力方予メ移民大臣及首相代理ニ要
請ノ件三二九

一〇 三二三 三月二十八日 機密公四 在オタワ古谷総領事ヨリ カナダ移民法改正等ニ関シ首相代理
内田外務大臣宛 及移民大臣ト会谈ニ付報告ノ件三三〇

一五 四七〇 三月二十八日 二五九 在ハルビン佐藤総領事ヨリ コルチャック及セメノフ両者ノ確執
内田外務大臣宛(電報) 解消方ニ関スルホルワットノ意見ニ四九三
付報告ノ件

一〇 三二四 三月二十九日 公七九 在ヴァンクーヴァー浮田領事 州議會農業委員會ノ東洋人排斥決議
内田外務大臣宛 ニ関スル件三三二

一五 四七一 三月三十日 二四一 内田外務大臣ヨリ セメノフ問題ニ関シ日本政府ヨリオ四九四
一三五 在米国石井大使在浦潮松平政
務部長在ハルビン佐藤総領事
各宛(電報) ムスク政府ニ対シ勧告ノ件

別電 同日内田外務大臣宛在米国石井大使在浦潮松平政務部長在
ハルビン佐藤総領事各宛電報四九五
右勧告内容

二 四三 三月三十一日 公二二四 在桑港太田総領事ヨリ 外国人ノ財産所有権ニ関スルコロラ
内田外務大臣宛 下州憲法改正ヲ防止セントスル運動
ヲ非難セル米国上院議員フイーラン
ノ声明ニ付報告ノ件三九

一〇 三二五 三月三十一日 八 内田外務大臣ヨリ カナダ行日本移民ノ制限ニ関シ訓令
在ヴァンクーヴァー浮田領事 宛(電報)三三二

一〇 三一六 三月三十一日 一四 在ヴァンクーヴァー浮田領事
内田外務大臣宛(電報)

B、C、州議會閉会ノ件 ……三二三

四月

一〇 三一七 四月一日 一五 在ヴァンクーヴァー浮田領事
内田外務大臣宛(電報) ……三二三

一一 三五二 四月一日 一六 在里馬齋藤領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ……三五〇

三 七三 四月二日 五二 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ……六六

一〇 三一八 四月二日 二五 在オタワ古谷總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ……三二三

一五 四七二 四月三日 二八三 在ハルビン佐藤總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ……四九六

五 一七七 四月四日 条機密合 幣原外務次官ヨリ
神野大藏大臣宛(電報) ……一五〇

五 一七八 四月四日 条機密送 内田外務大臣ヨリ
在本邦仏国大使宛 ……一五二

附記一 一九一八年九月四日附在本邦仏国大使ヨリ後藤外務大臣
宛書翰 ……一五三

二 大正七年九月十八日附後藤外務大臣ヨリ在本邦仏国大使
宛公文条機密送第一四三号 ……一五四

八 二五三 四月四日 通機密送 内田外務大臣ヨリ
在浦潮菊池總領事宛 ……二三三

八 二五四 四月四日 通送 田中通商局長ヨリ
村上水産局長宛 ……二三四

一五 四七三 四月四日 二八七 在ハルビン佐藤總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ……四九七

五 一七九 四月七日 一八〇六 大塚農商務次官ヨリ
幣原外務次官宛 ……一五五

一五 四七四 四月七日 三二二 在ハルビン佐藤總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ……四九八

一六 五〇五 四月七日 浦参 在浦潮軍参謀長ヨリ
七七八 参謀次長宛 ……五三三

一四 四三六 四月八日 一八三 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) ……四九九

三 七四 四月九日 二二 内田外務大臣ヨリ
在桑港太田總領事宛(電報) ……六六

五	一八〇	四月九日	官房秘丙 二五	神野大蔵次官ヨリ 幣原外務次官宛	日仏通商航海条約廃棄問題ニ関スル 我対仏回答ノ構想ニ同意ノ件	……一五五
五	一八一	四月九日	三〇	在本邦仏国大使ヨリ 内田外務大臣宛	仏国政府ハ日仏通商航海条約第五 条第六條第七條及第十七條ヲ廢棄スル 旨並右廢棄ハ本年九月十日發効スベ キ旨通告ノ件	……一五六
五	一八二	四月十日	四六二	中西通信次官ヨリ 幣原外務次官宛	日仏通商航海条約廢棄問題ニ関スル 我対仏回答ノ構想ニ同意ノ件	……一五六
五	一八三	四月十日	三一	在本邦仏国大使ヨリ 内田外務大臣宛	日仏通商条約廢棄ニ関シ仏国ニ於テ ハ該條廢棄事項ヲ三個月毎ノ暗黙ノ延 長ニ依リ有効ニ存続セシメ度意図ナ ル旨並右ニ対スル日本政府ノ意向承 知シ度旨申越ノ件	……一五七
一〇	三一九	四月十日	三二	在オタワ古谷総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カナダ行移民制限ニ関シ國務大臣バ ーレルト会谈ノ件	……三二四
一五	四七五	四月十日	浦参 八〇四	浦潮派遣軍参謀長ヨリ 参謀次長宛(電報)	コルチャック及セメノフ間妥協条件 ニ関スルコルチャックノ要求及之ニ 関スル浦潮派遣軍ノ意向報告ノ件	……四九九
五	一八四	四月十一日		閣議決定	日仏通商航海条約及附属議定書ノ失 効ニ関スル仏国ノ申越ニ対スル我回 答ニ付請議ノ件	……一五八
五	一八五	四月十一日	機密送 二五	内田外務大臣ヨリ 在本邦仏国大使宛	日仏通商航海条約第五條第六條第七 條及第十七條等ノ廢棄通告ヲ了承ノ 旨回答ノ件	……一五九
三	七五	四月十二日	七五	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州上院ノ写真結婚關係法案ヲ提案 者ガ撤回セル旨報告ノ件	……六七
三	七六	四月十二日	七六	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州ノ写真結婚關係法案原文郵送ノ 旨電報ノ件	……六七

一〇	三二〇	四月十二日	三三	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	移民制限ニ関シ國務大臣バーレルト ノ意見交換ニ付報告及請訓ノ件	……三二六
七	二二七	四月十四日	内勸 五八一六	俵北海道庁長官ヨリ 内田外務大臣宛	日露漁業協約改締ニ関スル函館商業 會議所ノ請願書轉達ノ件	……二〇一

附屬書 三月二十七日附岡本函館商業會議所会頭ヨリ内田外務大臣宛請願書 ……二〇二

一〇	三二一	四月十四日	三四	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カナダ移民法改正ノ要点ニ付報告ノ 件	……三二七
一〇	三二二	四月十四日	三五	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カナダ移民法改正案ハ暫ク此儘看過 スルヲ適當ト認ムル旨稟申ノ件	……三二八
四	一七四	四月十五日	藏 三七八九	神野大蔵次官ヨリ 幣原外務次官宛	日英関稅協定ニ関スル調査送附ノ件	……一二八

附屬書 右日英関稅協定ニ関スル調査 ……一二九
附記 日本及印度間通商条約締結ニ関スル日英兩國間交渉經過要領 ……一四六

一〇	三二三	四月十五日	一二	内田外務大臣ヨリ 在オタワ古谷總領事宛(電報)	移民禁止又ハ制限ノ總督令公布ノ場 合ニ対シ日本人ヲ除外セシムル様尽 力方回訓ノ件	……三二八
一七	五八五	四月十六日	四五	内田外務大臣ヨリ 在瑞典國日置公使宛(電報)	西比利亞政策ヲ繞ル日米間ノ対立関 係ノ實際ニ付訓電ノ件	……六一七
一一	三三三	四月十七日	通送 四三三〇	田中通商局長ヨリ 岡警視總監宛	秘露国カニエテ耕地行契約移民森岡 移民会社間書面契約案承認指令ノ件	……三五〇

附屬書 書面契約案承認指令 ……三五一

一四	四三七	四月十七日	一七五	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	露国過激派政府ノ協商側ヘノ接近説 ニ対スル英國政府ノ態度ニ付英國外 相代理談話ノ件	四五九
五	一八六	四月十八日	条機密送 二八	内田外務大臣ヨリ 在本邦仏国大使宛		
一四	四三八	四月十八日	講六一五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日仏通商条約廃棄ニ関連シ仏印ニ於 ケル日本貨物ノ待遇問題ニ関スル仏 国政府ノ所見問合ノ件	一六〇
一四	四三九	四月十八日	一六六	在瑞西国本多公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米英仏各国資本家ノ露国内ニ利権獲 得策動ニ関シ回報ノ件	四六〇
一五	四七六	四月二十日	五五	在オムスク松島總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国人ノ独断ニ於ケル活動並露国開 港ヲ目的トスル米独協同運動ヲ米国 提議ノ件	四六一
五	一八七	四月二十四日	二〇六	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	セメノフ問題解決案ニ対スルセメノ フノ未回答ニ関シ適當ノ措置ヲ執ラ ルル様稟申ノ件	五〇一
附記 大正七年九月十七日後藤外務大臣松井大使宛往電第一二 四号						一六一
一六	五〇六	四月二十六日	三九九	在ハルビン佐藤總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日仏通商航海条約廃棄問題ニ関シ仏 国政府ニ対シ我方ノ所見ヲ認容セシ ムル様尽力方訓令ノ件	一六二
一七	五八六	四月二十六日		在本邦米国大使ヨリ 内田外務大臣宛	オムスク政府ハ露国復興統一ノ中核 タルベキ旨ノ意見松島總領事ヨリ具 申ノ件	五三五
西比利亞ニ於ケル日米軍隊ノ協力問 題ニ関シ田中陸相ヨリ在本邦米国大 使ヘノ申出ニ付同大使ガ本国政府ト 往復セル電報写提示ノ件						六一七
附記一 右文書訳文						六一九

二 四月二十五日田中陸相ヨリ内田外相ヘノ伝言						六二〇
一一	三五四	四月二十八日	一五	在智利国田付公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	秘露ヨリ墨国ヘ航航ノ途次智利ニ立 寄ノ日本人ノ動作智利人ノ警蹙ヲ買 ヒ居ルニ付其対策稟請ノ件	三五一
一四	四四〇	四月二十八日	講七六四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ノシベリア政策ニ関シ「リヴオ フ」公ノ上田書記官ニ対スル談話報 告ノ件	四六二
一五	四七七	四月二十八日	一八一 二五六	内田外務大臣ヨリ 在滿洲野野政務部長代理 在ハルビン佐藤總領事各宛 (電報)	セメノフノ蒙古国及滿洲王国独立運 動ニ関係セル事実ヲ指摘セル在本邦 露国大使ノ談話ニ関シ事実精探方訓 令ノ件	五〇一
一七	五八七	四月二十九日		閣議決定	西比利亞ニ於ケル鉄道及水路ノ守備 ニ関スル件	六二二
一〇	三二四	四月三十日		在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 田中通商局長宛	東洋人労働者排斥問題、日本人土地 所有排斥決議等ニ関シ在オタワ総領 事ニ報告ノ件	三二九

五 月

一六	五〇七	五月一日	四二二	在ハルビン佐藤總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスク政府承認ヲ繞ル英仏政府ノ 動向ニ対シ我執ルヘキ措置稟申ノ件	五三五
一七	五八八	五月一日	四二六	在ハルビン佐藤總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	イルクーツク方面ヘノ米軍配置ヲオ ムスク政府ハ好マザル旨ノ外相代理 談話ヲ在オムスク松島總領事ヨリ報 告ノ件	六二三

一〇 三二五 五月二日 三七 在オタワ古谷総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

B、C、州ニ於ケル東洋人渡航防止
ノ世論ニ関シ移民大臣ト会谈ニ付報
告ノ件……………三三〇

一七 五八九 五月二日 日本外務省ヨリ
在本邦米國大使館宛

西比利亞ニ於ケル鐵道及水路ノ守備
ニ関シ聯合國間ノ協定提議ノ件……………六二四

八 二五五 五月五日 八三 在浦潮菊池總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露領水産組合事業船ノ露領沿岸廻航
ハ露國漁業監視官ノ便乗ヲ条件トシ
許可スル旨極東漁業行政庁長來談ニ
付請訓ノ件……………二三五

一五 四七八 五月五日 講八五八 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク北露及南露三政府ノ全露合
同政府組織等ニ関シ「グチコフ」ノ
上田ニ対スル談話報告ノ件……………五〇二

一一 三五五 五月六日 一四 内田外務大臣ヨリ
在リマ斎藤領事宛(電報)

本邦移民ノ智利立寄ヲ防止スベキ手
段ヲ講ズル様訓令ノ件……………三五一

一六 五〇八 五月六日 一四三 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク政府ヲ全露仮政府ト認ムル
旨北露政府決定ニ付丸毛ヨリ報告ノ
件……………五三六

一〇 三二六 五月八日 四七 在オタワ古谷總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

仏印ニ於ケル日本貨物ノ待遇保障方
ニ関スル我方ノ要求ニ付請訓ノ件……………一六三

一六 五〇九 五月八日 講三五二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

移民法改正案ニ関スル移民大臣ノ議
会ニ於ケル説明ニ付報告ノ件……………三三二

一〇 三二六 五月八日 四七 在オタワ古谷總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク政府ニ対シ日本政府物資援
助ノ件……………五三六

一六 五〇九 五月八日 講三五二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日露漁業協約改締希望事項ノ理由書
進達ノ件……………二〇三

七 二二八 五月九日 五八一六 笠井北海道庁長官ヨリ
内田外務大臣宛

露領水産組合事業船鵜丸露領沿岸へ
廻航方ニ関シ意見問合ノ件……………二三六

八 二五六 五月九日 一〇四 田中通商局長ヨリ
村上水産局長宛

一〇 三二七 五月九日 四八 在オタワ古谷總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

カナダ移民政策ノ精神及我方自制措
置ノ効果ニ関スル件……………三三三

一五 四七九 五月九日 浦參 九六六 浦潮派遣軍參謀長ヨリ
參謀次長宛(電報)

オムスク政府及セメノフ間ノ妥協問
題ニ関シ在オムスク田中少將ニ与へ
タル指示ニ付報告ノ件……………五〇三

別電

同日浦潮派遣軍參謀長發參謀次長宛別電

浦潮派遣軍參謀長ノ名ヲ以テ田中少將ヨリオムスク政府ニ……………五〇三

申入ルベキ内容

一〇 三二八 五月十日 四九 在オタワ古谷總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

B、C、州ニ於ケル日本人土地所有
問題ニ関スル件……………三三四

一六 五一〇 五月十日 極秘官房 機密 六二七 枋内海軍次官ヨリ
埴原政務局長宛

オムスク政府ヨリ「ロマノフスキー」中
將ヲ日本派遣ノ件……………五三七

二 四四 五月十二日 通機密送 五 在桑港太田總領事宛
在オムスク政府ヨリ

排日ヲ目的トセルコロラド州ノ憲法
改正案ニ関シ同州ニ於ケル排日ノ根
底排日論者ノ素性憲法改正案ノ動機
等查報方訓令ノ件……………四〇

一六 五一一 五月十四日 浦參 九八七 在浦潮軍參謀長ヨリ
參謀次長宛(電報)

オムスク政府「ロマノフスキー」中
將ヲ日本ニ特派ノ件……………五三七

一六 五二二 五月十四日 在オムスク政府ヨリ
在本邦露國大使會談

オムスクニ派遣方申出ノ件……………五三八

一六 五二三 五月十四日 講九九三 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク政府承認ヲ日本ガ率先提議
セラレ度旨ルヴオフ公上田ニ談話ノ
件……………五三九

一一 三五六 五月十五日 二二 在里馬斎藤領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

墨國行日本人ノ智利立寄防止策ニ付
意見具申ノ件……………三五一

一五 四八〇 五月十五日 四六七 在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

蒙古及滿洲王国独立問題トセメノフ
ノ關係ニ付在チタ古沢副領事ヨリ回……五〇四
電ノ件

五 一八九 五月十六日 二二六 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

仏印ニ於ケル日本貨物ノ待遇保障方
ニ関スル我要求ハ通商条約全部廢棄
ノ対償トシテ為サルモノナル旨回
訓ノ件

一六 五一四 五月十六日 閣議決定

オムスク政府承認問題ニ関スル件……五四〇

附記 オムスク政府承認条件ニ就キ(政務局調)……………五四〇

一六 五一五 五月十六日 二二三 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本ノオムスク政府承認ニ関スル報
道ニ対シ「マンチエスター」ガ「デ
イアン」紙ノ社説報告ノ件……………五四一

一〇 三二九 五月十七日 五〇 在オタワ古谷総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

移民法改正案下院通過ノ件……………三三五

一五 四八一 五月十七日 二八九 在浦潮矢野政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ダウリア駅附近ニ於ケルセメノフ軍
ノ列車嚴重検査事件ニ付在浦潮外交
代表者決議ニ関スル件……………五〇五

一六 五一六 五月十七日 一〇二三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

連合国側ニ依ルオムスク政府承認接
近並ケレンスキーノ米國側ニ対スル……五四一
提言ニ関スル件

一七 五九〇 五月十七日 在米本邦米國大使館ヨリ
日本外務省宛

日米兩國ハ西比利亞鐵道ノ復旧ニ全
力ヲ傾注スベク軍隊ハ只聯合國委員
会ヲ援助スル為ニノミ使用セラルベ
シトノ米國政府ノ見解表明ノ件……………六二五

一七 五九一 五月十九日 三六九 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク政府ヨリ米國派遣軍司令官
ニ對シ米國軍隊ヲ現在以上ニ西比利
亞内地ニ送ラザル様申入レタル旨ノ
新聞報道報告ノ件……………六二七

八 二五七 五月二十日 水七五七 村上水産局長ヨリ
田中通商局長宛……………二三六
露領水産組合事業船ノ露領沿岸廻航
許可ノ条件ニ関シ回答ノ件

一六 五一八 五月二十一日 三八五 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五四三
オムスク政府承認ノ我提議ニ関シ米
國國務長官代理ト会见ノ件

八 二五八 五月二十二日 六三 在浦潮菊池總領事宛(電報)
内田外務大臣ヨリ……………二三六
露領水産組合事業船ニ先方監視官便
乗ニ付回訓ノ件

一六 五一九 五月二十二日 二九三 在浦潮矢野政務部長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五四四
オムスク政府承認問題ニ関スル浦潮
各紙ノ論調報告ノ件

八 二五九 五月二十三日 九六 在浦潮菊池總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………二三七
露國監視官ガ鵬丸ニ乗船スベキ時所
間合ノ件

一一 三五七 五月二十三日 一九 在智利國田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三五二
秘露ヨリ墨國ニ航スル日本人ニ對
シ智利ヨリノ東洋汽船切符発売中止
ニ処置ヲ執リタル旨並今後ノ防止策
ニ付建言ノ件

一 二 五月二十四日 三八八 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一
米國下院ニ亞細亞人労働者入國禁止
案及二個年間外國移民入國禁止案ノ
提出アリタル件

七 二二九 五月二十四日 二九八 田中通商局長ヨリ
松本主税局長宛……………二〇五
本邦漁業者ニ對スル所得稅賦課ノ実
際的取扱振ニ関シ問合ノ件

附記 七月三日附露領水産組合北海道支部ヨリ同本部宛報告書……………二〇六
露領漁獲物ニ関スル所得稅及營業稅賦課ノ実例查報ノ件

一六 五二〇 五月二十四日 二二九 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五四四
オムスク政府承認ノ我提議ニ関シカ
ーゾン外相代理ト会见ノ件

一六 五二一 五月二十五日 三八八 内田外務大臣ヨリ
在米國石井大使宛(電報)……………五四五
オムスク政府承認提議ニ関シ在本邦
露國大使幣原次官ニ談話ノ件

一六 五二二 五月二十六日 講 在仏国松井大使ヨリ
一〇九七 内田外務大臣宛(電報)
露国問題ニ関スル連合五大国ヨリ
一〇ルチャックニ提督宛電信案ニ付
米国大統領邸ニ於ケル五大国各代表
者協議ノ件……………五四六

別電

同日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報講第一〇九九号……………五四八

八 二六〇 五月二十七日 通機密送 田中通商局長ヨリ……………二三七
一一三 村上水産局長宛

八 二六一 五月二十七日 通機密送 田中通商局長ヨリ……………二三七
二九 小島露領水産組合長宛

一六 五二三 五月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ……………五五一
一一四 内田外務大臣宛(電報)

一六 五二四 五月二十八日 軍事発 菅野軍務局長ヨリ……………五五一
四一 埴原政務局長宛

附屬書

五月十六日閣議決定……………五五一

一六 五二五 五月二十八日 二三四 在英國永井臨時代理大使ヨリ……………五五二
二四 内田外務大臣宛(電報)

一 三 五月二十九日 一三八 在米国石井大使ヨリ……………二
内田外務大臣宛

附屬書

同日石井大使宛在桑港、ロスアンゼルス、シアトル、ホルル各領事宛公信亨……………二

八 二六二 五月二十九日 六六 内田外務大臣ヨリ……………二三七
在浦潮菊池總領事宛(電報)

一五 四八二 五月三十日 浦参 浦潮派遣軍参謀長ヨリ……………五〇六
一〇七二 参謀次長宛(電報)

一六 五二六 五月三十一日 三〇六 在浦潮松平政務部長ヨリ……………五五二
内田外務大臣宛(電報)

六 月

一七 五九二 六月二日 在本邦米国大使館ヨリ……………六二七
日本外務省宛

一六 五二七 六月五日 五三六 在ハルビン佐藤總領事ヨリ……………五五三
内田外務大臣宛(電報)

一七 五九三 六月五日 田中陸軍大臣ヨリ……………六二九
内田外務大臣宛

八 二六三 六月六日 一〇六 在浦潮菊池總領事ヨリ……………二三八
内田外務大臣宛

一〇 三三〇 六月六日 五五 在オタワ古谷總領事ヨリ……………三三五
内田外務大臣宛(電報)

一〇 三三一 六月六日 五六 在オタワ古谷總領事ヨリ……………三三六
内田外務大臣宛(電報)

一〇 三三二 六月六日 五七 在オタワ古谷總領事ヨリ……………三三六
内田外務大臣宛(電報)

一六 五二八 六月六日 一二三 在オムスク松島總領事ヨリ……………五五三
内田外務大臣宛(電報)

一六 五二九 六月 六日 八九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 聯合側政府ノオムスク政府承認問題
ニ付五大国代表ヨリコルチャクニ申
送レル趣旨ノ通告ニ対シ北露政府回
答ノ件 五五四

一 四 六月 七日 四一一 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一時的移民禁止及在留外国人取締ニ
関スル各種法案米国議會ニ提出ノ状
況報告ノ件 三

一 五 六月 七日 機密公五 在ロシアンゼルス大山領事ヨ
リ内田外務大臣宛 米国下院移民及帰化委員長ジョンソ
ン提出ノ新移民法案ニ付意見稟申ノ
件 三

附屬書 同日大山領事發在米大使宛公信写 三

一〇 三三三 六月 七日 一三三 ヴァンクーヴァー浮田領事ヨ
リ内田外務大臣宛(電報) 讀書試験ノ實際ノ取扱振ニ関シカナ
ダ及米国各移民官談話ノ件 三三六

一七 五九四 六月 七日 日本外務省ヨリ
在本邦米国大使館宛 西比利亞ニ於ケル鐵道及水路守備地
域設定計画ノ放棄等ニ関スル五月十
七日附米国大使館覺書ニ対シ回答ノ
件 六三〇

附記 右回答ノ覺書案文 六三一

一七 五九五 六月 七日 日本外務省ヨリ
在本邦米国大使館宛 西比利亞鐵道守備ニ関スル六月二日
附米国大使館覺書ニ対シ回答ノ件 六三二

附記 右回答ノ覺書案文 六三三

一一 三五八 六月 九日 政機密
一〇 在智利国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛 秘露国ニ於ケル亞細亞人排斥法案ニ
関聯シ同国外務次官ヨリノ來信報告
ノ件 三三三

附屬書 五月九日付秘露国外務次官ヨリ田付公使宛書翰訳文 三三三

一五 四八三 六月 九日 在本邦英國大使館ヨリ
日本外務省宛 ドウリア駅ニ於ケルセメノフ軍ノ行
為ニ関スル在浦潮外交代表者決議遂
行ニ必要ナル措置ヲ執ル様日本政府
ニ希望ノ件 五〇七

一六 五三〇 六月 九日 五三八 在ハルビン佐藤總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) オムスク政府仮承認ニ関スル日本ノ
提議ニ対シ同政府外相代理談話松島
ヨリ報告ノ件 五五五

一六 五三一 六月 九日 日本外務省ヨリ
在本邦露国大使館宛 本邦式小銃用彈藥五十万発入手方オ
ムスク政府ヨリノ申出ニ関シ回答ノ
件 五五六

一〇 三三四 六月 十日 六一 在オタワ古谷總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 移民法改正案議會修正ノ上總督裁可
ノ件 三三七

一〇 三三五 六月 十一日 通送七〇 幣原外務次官ヨリ
古賀拓殖局長官宛 加奈陀移民法改正及本邦人ニ關係ア
ル主要事項ニ付通報ノ件 三三七

一五 四八四 六月 十三日 三二四 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) セメノフ軍ノ列車運行妨害米国兵ノ
不規律行動等ニヨルセメノフ軍米国
側間感情悪化ニ関シ我軍司令部ノ対
策ニ付報告ノ件 五〇八

一六 五三二 六月 十三日 講一三一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 巴里首相會議ニ於テコルチャク承認
問題ニ関シ牧野全權發言ノ件 五五六

別電 同日松井大使發内田外務大臣宛電報講第一三二一號 五五七

八 二六四 六月 十四日 一一 内田外務大臣ヨリ
在ベトロバウロフスク緒方領 露領水産組合事業船鵜丸ニ露国漁業
監視官便乗ニ関スル件 二三八

八 二六五 六月 十四日 通機密送 二 内田外務大臣ヨリ
在ベトロバウロフスク緒方領 露領水産組合事業船鵜丸堪察加沿岸
回航及露国漁業監視官ノ便乗ニ関ス
ル件 二三八

八	二六六	六月十四日	一一〇	在蒲潮菊池總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	鵬丸ニ裝置ノ無線電信ニ関シ極東代 官府ヨリ申越ノ件……………二三九
一	六	六月十六日	公九五	在紐育富井總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛	「サクラメント、ビー」主筆ガ「ギ ユリック」提出ノ移民比例制限案ヲ 攻撃セル旨ノ新聞報道報告ノ件……………六
一	七	六月十七日	一二七	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ギユリック博士ノ移民比例制限案ガ 一般言論界ノ注意ヲ喚起スル旨在米 大使ヨリ報告ノ件……………六
一〇	三三六	六月十七日	六六	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	移民ノ読書試験用カードニ関スル件……………三三九
八	二六七	六月十八日	八〇	内田外務大臣ヨリ 在蒲潮菊池總領事宛(電報)	鵬丸ニ裝置ノ無線電信使用可能ノ範 囲ニ関シ極東代官府ニ確メ方訓令ノ……………二三九
一七	五九六	六月十八日	四四三 八二七 二六九 三八七	内田外務大臣ヨリ 在米國出淵臨時代理大使 在中國小幡公使部長 在蒲潮松平政務部長 在ハルビン佐藤總領事	第五師団ノ一部ヲ蒲潮ニ派遣スルコ トニ閣議決定ノ件……………六三四
一六	五三三	六月十九日	講五〇八	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報)	コルチャク政府承認問題ニ付連合 側首脳ノ意向打診方訓電ノ件……………五五七
一五	四八五	六月二十日	三三一	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	セメノフノ鉄道運行妨碍ニ対スル措 置ニ付特別委員会ニ於テ説明シタル……………五〇九
一	八	六月二十五日	公一〇二	在ホノルル諸井總領事ヨリ 内田外務大臣宛	米國下院移民委員長ジョンソン提出 ノ新移民法案ニ関シ意見具申ノ件……………七

附屬書

同日諸井總領事宛在米臨時代理大使宛公信米第七号写

……………七

四	一七五	六月二十五日	二六一	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	歐洲大戰後ノ復興期間ニ対スル英國 ノ通商政策ト最惠國待遇問題ニ関ス ル件……………一四七
---	-----	--------	-----	------------------------------	--

七	二三〇	六月二十五日	藏七〇〇三	松本主税局長ヨリ 田中通商局長宛	本邦漁業者ニ対スル所得税賦課ノ取 扱振ニ関シ回答ノ件……………二〇七
---	-----	--------	-------	---------------------	---------------------------------------

附記

外国ニ於ケル漁獲物ヨリ生ズル所得ニ対スル課税問題ニ関
スル判例

……………二〇七

八	二六八	六月二十五日	一一九	在蒲潮菊池總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	鵬丸ノ無線電信使用可能ノ範圍ニ関 シ極東代官府ニ確メタル件……………二四〇
九	二八〇	六月二十七日	機密公 一五	在シドニー清水總領事ヨリ 内田外務大臣宛	クウィンスランド州ニ於テ糖業ニ從 事スル有色労働者排斥ニ関スル件……………二六七

附屬書一

六月五日在シドニー清水總領事ヨリ内務及屬領省次官宛
往電写

……………二六八

二	六月十日連邦首相代理ヨリ在シドニー清水總領事宛來電 写	……………二六八
---	--------------------------------	----------

三	六月二十一日クウィンスランド州首相ヨリ同州首相代理 宛往電写	……………二六九
---	-----------------------------------	----------

一	九	六月二十八日	一一九	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ギユリック移民法案ニ関スル米國下 院移民委員会ニ於ケル論議ノ狀況在 米臨時代理大使ヨリ報告ノ件……………八
一	一〇	六月二十八日	一二〇	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米國下院移民委員会ノ移民法案審議 ニ関シ在留邦人ガ輕々シキ論議ヲ為 サザル様指導方在米大使ヨリ太田總 領事ヘ指示ノ件……………一〇

八	二六九	六月二十八日	一六	内田外務大臣ヨリ 在ベトロバウロフスク緒方領 事代理宛(電報)	鵬丸ノ無線電信使用可能ノ範圍ニ付……………二四〇 同船ニ達示方ノ件
一六	五三四	六月三十日	講 一四九六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	コルチャック政府承認問題ニ付牧野 全權ヨリ英国首相ノ意向打診ノ件……………五五八

七月

六	二〇五	七月一日	一〇六	在伊国今井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	伊国政府ヨリ日伊通商条約ノ更新及 廃棄ニ関スル大正七年十二月ノ暫定 取極ノ修正方提議並右条約廃棄通告 ニ付請訓ノ件……………一八二
六	二〇六	七月二日	一〇七	在伊国今井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日伊通商条約ノ廃棄通告ニ関シ伊国 外務省事務当局説明ノ件……………一八三
六	二〇七	七月三日	一一〇	在伊国今井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日伊通商条約ノ廃棄通告ニ関シ大蔵 省当局伊国政府ノ真意説明ノ件……………一八四
一五	四八六	七月三日	六一〇	在ハルビン佐藤総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ハセメノフニ充分ノ援助ヲ与ヘ 彼ヲシテ露国救済ノ大功ヲ樹テシム ルヲ得策トストノイルクツク有力 者ノ意見若杉ヨリ報告ノ件……………五一〇
一四	四四一	七月四日	講 一五四六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英国ノ対露政策ニ関シ「グチコフ」 ノ上田書記官ニ対スル談話報告ノ件……………四六二
一六	五三五	七月四日	五一 四一四 八三二	内田外務大臣ヨリ 在オムスク松島總領事 在ハルビン佐藤總領事 在浦潮松平政務局長 (電報)	モリス在日米国外使ノオムスク視察 旅行ニ付便宜供与方及接觸方訓電ノ……………五五九

一七	五九七	七月四日		在仏国奈良中将ヨリ 陸軍省宛電報	在露チェック軍北方へ転進ノ場合同 軍ノ西比利亜鐵道守備区域ヲ日本軍 ニ於テ交代担任等ニ付請訓ノ件……………六三五
一〇	三三七	七月六日	七一	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	移民ノ読書試験用カードニ関スル件……………三三九
一〇	三三八	七月六日	七二	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加奈陀移民法改正ニ件フ総督令公布 及右ハ日本人ニ適用ナキ旨移民次官 補ヨリ申越ノ件……………三三九
八	二七〇	七月七日	八八	内田外務大臣ヨリ 在浦潮菊池總領事宛(電報)	鵬丸ノ公海ニ於ケル無線電信使用ニ 関シ露国法規取調方訓令ノ件……………二四〇
一〇	三三九	七月七日	七三	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加奈陀議會閉会ノ件……………三三九
一	一一	七月八日	二四	内田外務大臣ヨリ 在マニラ相原總領事代理宛 (電報)	米国新移民法案ノ比律賓適用ニ関シ 調査方訓令ノ件……………一〇
一四	四四二	七月八日	七月四日 發奈良中 將電報百 六十四	在仏国奈良中将ヨリ 陸軍省宛(電報)	チェック軍ノ「アルハンゲリスク」 方面ヘノ移動計畫ヲ討議セル四大国 軍事會議ニ関スル件……………四六四
一	一二	七月九日	四八七	内田外務大臣ヨリ 在米国出淵臨時代理大使宛 (電報)	ジョンソン新移民法案ニ関シ再渡航 者及商人ノ入国確保ノ措置、学生ノ 卒業後ノ滞米ニ付意見問合並調査報 告方訓令ノ件……………一一
六	二〇八	七月十一日	外務省告 示一五	外務省告示	伊国政府ノ日伊通商航海条約廃棄通 告ニ関シ告示ノ件……………一八四
八	二七一	七月十一日	一三四	在浦潮菊池總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	鵬丸ノ無線電信使用問題ニ関シ山口 副領事極東代官府民政部長往訪ニ付 報告ノ件……………二四一

一五 四八七 七月十一日 三五六 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

セメノフノ鉄道運行干渉ニ関シモリ
ス米国大使ト談話ノ件……………五一

一七 五九八 七月十一日 在仏国奈良中将ヨリ
陸軍省宛(電報)

在露チエック軍ノ「アルハンゲル」
転進計画取止及同軍ノ西北利亜鐵道
守備区域ヲ他国ニ於テ交代担任ノ問
題ニ付報告ノ件……………六三六

一六 五三六 七月十二日 政二機
内田外務大臣ヨリ
在本邦露国大使宛

オムスク政府ヘ日本政府小銃彈供給
ノ件……………五五九

六 二〇九 七月十三日 三九 内田外務大臣ヨリ
在伊国今井臨時代理大使宛
(電報)

日伊通商暫定取極ノ廢棄通告ニ関シ
回訓ノ件……………一八四

一七 五九九 七月十三日 一四九 在オムスク松島書記官ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク政府援助ノ為イルクーツク
以西ニ日本軍出動ヲ為シ得ザルヤ詮
議方稟請ノ件……………六三七

六 二一〇 七月十四日 調機密合
送三〇五 幣原外務次官ヨリ
大塚農商務神野大藏各次官宛

日伊通商航海条約廢棄問題ニ関スル
交渉方針ニ付意見問合ノ件……………一八五

八 二七二 七月十四日 通送三三 在ベトロバウロフスク緒方領
事代理ヨリ
内田外務大臣宛

露領水産組合事業船鵜丸來航ト露国
官民ノ態度ニ関シ報告ノ件……………二四一

一 一三 七月十五日 五〇〇 内田外務大臣ヨリ
在米国出淵臨時代理大使宛
(電報)

ジョンソン新移民法案ニ関シ同法ノ
比律賓適用ニ付米国政府ノ考量ヲ求
ムル様訓令ノ件……………一二

九 二八一 七月十五日 機密公
一八九 在シドニー清水總領事ヨリ
内田外務大臣宛

クウインズランド州ニ於テ糖業ニ從
事スル有色人排斥ニ関シ統報ノ件……………二六九

一二 三六九 七月十五日 政機密八 在伯国堀口公使ヨリ
内田外務大臣宛

対伯国啓発運動ノ為必要ナル機密費
支出ニ関スル件……………三七五

一四 四四三 七月十五日 講
一六三四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

北露ヨリ日本公館撤退ニ関シ意見具
申ノ件……………四六七

一七 六〇〇 七月十六日 浦参
一三二二 在蒲潮派遣軍參謀長ヨリ
參謀本部總務部長宛(電報)

日本軍二個師団ノ後具加爾以西ヘノ
進出方オムスク政府要請ノ件……………六三八

一六 五三七 七月十七日 講
一六五四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク政府承認問題ニ関シ牧野全
權ヨリ英国外相代理ノ意向打診ノ件……………五六〇

一七 六〇一 七月十七日 在本邦露国大使館ヨリ
日本外務省宛

イルクーツク以西ニ日本軍二個師団
派遣方要請ノ件……………六三八

一五 四八八 七月十八日 三六六 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

セメノフ及露国交通省ノ鐵道妨害行
為阻止ノ為ノ措置ニ付鐵道特別委員
会各委員ノ名ニ於テコルチャクニ電
報方議決ノ件……………五二二

別電 同日松平政務部長宛内田外務大臣宛電報第二六七号……………五一三
右電報内容

附記 五月三十一日松平政務部長宛内田外務大臣宛軍政機密送第
四〇号……………五一四
鐵道特別委員会ノ決議ニ関スル件

一七 六〇二 七月十八日 在仏国奈良陸軍中将ヨリ
陸軍省宛(電報)

チエック軍ニ代リ西比利亜鐵道守備
ヲ日米兩軍ニ要請スルコトヲ外相会
議可決ノ件……………六四〇

六 二一一 七月十九日 藏
七九五一 神野大藏次官ヨリ
幣原外務次官宛

日伊通商航海条約廢棄問題ニ関シ回
答ノ件……………一八六

七 二三一 七月十九日 通商局調書 極東共和国政府承認問題ト現行日露
間条約關係ニ関スル件……………二一〇

一七 六〇三 七月十九日 講 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

チェック軍ニ代リ西比利亜鉄道守備
ヲ日米兩軍ニ要請スルコトヲ五国会
議ニ於テ決定ノ件 六四〇

別電

同日松井大使宛内田外務大臣宛講第一六九二号

六四二

一五 四八九 七月二十一日 三七〇 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

西比利亜鉄道特別委員会ニ於テセメ
ノフノ鉄道干渉ヲ即時且完全ニ止メ
シムル様オムスク政府ニ要請スルコ
トヲ決議ノ件 五一五

一五 四九〇 七月二十二日 六六〇 在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

セメノフノ鉄道妨害問題ニ関スルモ
リス米國大使大庭師団長会談ニ付在
チタ古沢副領事ヨリ報告ノ件 五一六

一七 六〇四 七月二十二日 日本外務省ヨリ
在本邦露國大使館宛

イルクーシツク以西ニ日本軍派遣方要
請ニ対シ拒否ノ旨回答ノ件 六四二

附記

バイカル湖以西へ日本軍派遣ヲ不可トスル陸軍省意見

六四四

一七 六〇五 七月二十二日 五一五 内田外務大臣ヨリ
在米國出淵臨時代理大使宛
(電報)

イルクーシツク以西へ日本軍二個師団
派遣方オムスク政府ノ要請ニ対シ拒
否ノ旨回答シタル件 六四五

一七 六〇六 七月二十三日 陸軍省 五
在英國田中陸軍少將ヨリ
陸軍省宛

在西比利亜チェック軍ノ帰國ヲ英國
ガ提案セル経緯ニ関スル件 六四六

六 二二二 七月二十四日 八一三 大塚農商務次官ヨリ
幣原外務次官宛

日伊通商航海条約廢棄問題ニ関シ回
答ノ件 一八六

一七 六〇七 七月二十四日 講 一七二六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

チェック軍帰國後ノ西比利亜鉄道守
備ノ為日本軍増遣問題ニ付意見具申
ノ件 六四七

一一 三五九 七月二十五日 公 五六 在里馬齋藤領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

森岡移民会社及秘露カサ、グランデ
耕地間ニ締結セラレタル移民需給契
約承認ノ件 三五五

九 二八二 七月二十六日 機密公 一一〇 在シドニー清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛

濠洲ニ於ケル對抗運動ニ関スル件 二七八

附記

通商局第三課調書
濠洲ニ於ケル排日經過概要

二八四

一七 六〇八 七月二十六日 五五九 在米國出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米國兵ノ西比利亜駐屯理由、米國ノ
對西比利亜政策等ニ付米國大統領書
面ヲ以テ上院ニ説明ノ件 六四八

一五 四九一 七月二十七日 六七〇 在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

セメノフノ鉄道運行干渉問題ノ紛糾
ハ日米軍憲ノセメノフノ權限ニ関ス
ル見解ノ相違ニ端ヲ發スト認メラル
ル旨若杉ヨリ報告ノ件 五一七

一二 三七〇 七月二十八日 通公 一〇六 在サンパウロ野田總領事代理
ヨリ
内田外務大臣宛

呼寄移民証明ノ範圍擴張承認方ニ関
スル件 三七六

附屬書

七月二十四日附在伯國堀口公使ヨリ野田總領事代理宛總第
一四号写

三七七

七 二二二 七月三十日 六五 内田外務大臣ヨリ
在オムスク松島書記官宛

別電 一
同日内田外務大臣宛在オムスク松島書記官宛電報第六六号
要請ノ覺書案

日露漁業協約ノ効力ニ関スル我提案
ニ依リ交渉方訓令ノ件 二二三

二

同右電報第六七号
漁業協約ノ明文以外ニ於テ日本ガ享有スル權利利益

二一六

附記 右權利利益ニ関スル文書

一四	四四四	七月三十日	陸講 九	在英國田中少將ヨリ 陸軍省宛(電報)	英仏米各国ニ於ケル對露國政策ニ関 スル件	二一七
八	二七三	七月三十一日	一四六	在浦潮菊池總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	鵬丸ノ無線電信使用問題ニ関シ露國 現行法ニハ明文ナキ旨極東代官告白 ノ件	二四三
二二	三七一	七月三十一日	通三送 七五六九	中村通商局長ヨリ 福島県知事宛	氏名詐称渡伯ノ移民福島県人加藤竜 藏ニ関スル件	三七八

八月

六	二二三	八月一日	四三	内田外務大臣ヨリ 在伊國今井臨時代理大使宛 (電報)	日伊通商暫定取極ニ関スル伊國新提 議ノ修正方訓令ノ件	一八七
二二	三七二	八月二日	通公 一一一	在サンパウロ野田總領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛	偽名渡伯ノ沖繩県人大城武盛ニ関ス ル件	三七八
二二	三七三	八月二日	通公 一一四	在サンパウロ野田總領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛	新井書記生サントス出張復命書進達 ノ件	三七九
				附屬書 右出張復命書		三七九

七	二二三	八月五日	通一機密 送一八一	幣原外務次官ヨリ 犬塚農商務次官宛	日露漁業協約改締実施ニ至ル迄同協 約ノ効力持續ニ関スル取極ニ付訓令 セル旨通報ノ件	二一八
一〇	三四〇	八月五日	機密往八	在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛	労働者入國禁止ニ関スル總督令ニ関 スル件	三四〇

附屬書 一九一九年七月三日附スコット移民次官補ヨリ古屋總領事
宛 入國禁止ニ関スル總督令日本人ニ適用ノ旨表明ノ件

三四〇

一四	四四五	八月六日	講 一七九二	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	北露ヨリ英仏伊各国ノ駐屯兵外交団 等撤退ニ関スル件	四六九
八	二七四	八月七日	通一送 七五	内田外務大臣ヨリ 在浦潮菊池總領事宛	露領水産組合事業船鵬丸ニ露國漁業 監視官便乗ニ関スル件	二四四
七	二三四	八月九日	一八四	在オムスク松島書記官ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日露漁業協約ノ効力持續ニ関シ露國 外務大臣代理ト会見ノ件	二一八
一七	六〇九	八月九日	講六六一	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	西部西比利亞ヘノ日本軍派遣ノ要請 ニ對スル措置振回訓令ノ件	六四九
七	二三五	八月十二日	一八九	在オムスク松島書記官ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日露漁業協約ノ効力持續ニ関スル露 國側文書案報告並請訓ノ件	二一九
				附記 右露國側文書案ノ和訳文		二一九
五	一九〇	八月十四日	調二合送 一〇五六	幣原外務次官ヨリ 犬塚農商務、神野大藏各次官 宛	日仏通商條約ニ於テ本年九月十日ヲ 以テ廃棄セラルル條項ニ関スル暫定 取極ノ交渉方針ニ付意見問合ノ件	一六四

一六	五三九	八月十四日	七五五	在ハルビン佐藤總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスク政府外相代理日英米仏各国 代表者ニ對シ危急存亡ノ戰況説明ノ 上援助懇請ノ件	五六三
----	-----	-------	-----	-----------------------------	---	-----

一七 六一〇 八月十四日 閣議決定

日本ノ対西比利亞政策ニ関スル件……………六五〇

一六 五四〇 八月十五日 七六〇 在ハルビン佐藤総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オムスク政府ノ管理下ニアル準備金
ノ東方移送ニ付連合国側ヨリ外務大
臣代理ヘ申入ノ件……………五六四

一六 五四一 八月十五日 浦参 浦潮派遣軍参謀長ヨリ
一五二六 参謀次長宛(電報)

英仏兩國ノ対露政策變更ノ兆並モ
リス米國大使ノオムスク來着及米國
ノ対シベリア政策ニ関スル件……………五六四

五 一九一 八月十六日 条一機密 内田外務大臣ヨリ
送五二 在本邦他國大使宛

日仏通商條約ニ於テ本年九月十日ヲ
以テ廢棄セラルル條項ニ関スル暫定
取極ノ締結方他國ノ申越ニ対シ異議
ナキ旨回答ノ件……………一六五

一二 三七四 八月十六日 二五 在サンパウロ野田總領事代理
ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

移民ノ家族構成ニ関シ州政府ノ讓歩
ヲ得タルニ付我移民募集ニ対シ政府
ノ援助方稟申ノ件……………三八三

七 二二六 八月十七日 八二 内田外務大臣ヨリ
在オムスク松島書記官宛(電
報)

日露漁業協約ノ効力持續ニ関スル先
方文書案ニ付回訓ノ件……………二二〇

七 二二七 八月十八日 送一機密 幣原外務次官ヨリ
送六五 高橋内閣書記官長宛

日露漁業協約等ノ効力持續ニ関シ請
議ノ件……………二二〇

附屬書 閣議案……………二二〇

七 二三八 八月十八日 公一四六 在浦潮菊池總領事ヨリ
内田外務大臣宛

日露漁業協約改訂ニ関スル露紙論調
訳報ノ件……………二二一

一 一四 八月十九日 機密五七 在米國出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

米國上院議員デイリンガム提出ノ新
移民法案送付及之ニ関スル「ファイ
ン」―「ギョリック」間論争ニ関シ報
告ノ件……………一二

一 一五 八月二十日 公一〇五 在ポートランド杉村領事ヨリ
内田外務大臣宛

米國議會ニ提出セラレタル新移民法
案ニ対スル上院議員フィラン氏ノ言
説ヲ非難セル「オレゴニア」紙社
説報告ノ件……………一三

一二 三七五 八月二十日 通三合送 田中通商局長ヨリ
一〇七九 海外興業株式會社社長森岡移民
株式會社理事各宛

サンパウロ州行移民ノ家族構成ニ関
スル件……………三八三

一三 四一六 八月二十日 政公信 在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ
一六〇 内田外務大臣宛

大鳥駐墨公使歸朝ノ途次ホノルルニ
於ケル新聞記者トノ會見談ニ関スル
件……………四三一

七 二二九 八月二十三日 八四 内田外務大臣ヨリ
在オムスク松島書記官宛(電
報)

日露漁業協約等ノ効力持續ニ関スル
文書交換方ニ付訓令ノ件……………二二三

一二 三七六 八月二十三日 通公 在サンパウロ野田總領事代理
一七 在オムスク松島書記官宛

移民ノ呼寄証明出願手續ヲ簡素化シ
タルニ付關係地方庁ニ通達方稟請ノ
件……………三八四

一七 六一一 八月二十三日 一三一 在伊國今井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

伊國ノ西比利亞ヨリ撤兵ノ方針ニ付
外務次官内話ノ件……………六五〇

七 二四〇 八月二十四日 内閣外甲 高橋内閣書記官長ヨリ
四五 幣原外務次官宛

日露漁業協約ノ効力持續ニ関シ閣議
決定通知ノ件……………二二三

一 一六 八月二十五日 公三七九 在米國出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

米國下院議員ジョンソン更ニ新移民
法案ヲ提出ノ件……………一四

五 一九二 八月二十五日 商一二三 大塚農商務次官ヨリ
三〇 幣原外務次官宛

日仏通商暫定取極ノ交渉方針ニ関ス
ル件……………一六七

八 二七五 八月二十五日 一五四 在浦潮菊池總領事ヨリ
内田外務大臣宛

露領水産組合事業船鵬丸ニ乗船ノ露
國漁業監視官ニ関スル件……………二四四

一 一七 八月二十六日 公二四七 在桑港太田總領事ヨリ
米國上院ニ提出ノデイリンガムノ移民法案ニ反対スル桑港ブレチン紙ノ社説報告ノ件……………一四

附屬書 桑港ブレチン紙切抜……………一五

一六 五四二 八月二十六日 二〇二 在オムスク松島書記官ヨリ
聯合國武官會議ニ於ケルオムスク政府ノ準備金移送及外交団撤退問題等ニ付報告ノ件……………五六六

七 二四一 八月二十七日 二〇三 在オムスク松島書記官ヨリ
日露漁業協約等ノ効力持續ニ関シ文書交換済並右發表方ニ付協議済ノ件……………二二三

附記 右文書交換ニ関スル官報掲載案……………二二四

一二 三七七 八月二十七日 二四 在サンパウロ野田總領事代理
サンパウロ州行日本家族移民ノ家族構成拡大ニ関シ交渉方訓令ノ件……………三八五

一二 三七八 八月二十七日 通公六六 在伯國堀口公使ヨリ
伯國行移民奨励ニ関スル意見上申ノ件……………三八五

一六 五四三 八月二十七日 二〇四 在オムスク松島書記官ヨリ
オムスク政府ノ準備金移送ニ関シ連合國代表者ヨリ「コルチャック」ニ勸告ノ件……………五六六

五 一九三 八月二十九日 三四二 在內田外務大臣ヨリ
日仏通商條約中ノ廢棄條項ニ関スル暫定取極締結方仏國ノ申越及我方受諾ノ經過通報並右促進ノ措置方訓令ノ件……………一六七

一二 三七九 八月二十九日 通三合送 田中通商局長ヨリ
伯國行移民家族構成ニ関スル件……………三八八

一五 四九二 八月二十九日 四三七 在浦潮松平政務部長ヨリ
コルチャックノ政策ニ反対シ且過激派ニ對抗スル民主的ナル西比利亞自治政府樹立ノ計画ニ関スル在浦潮民党首領ノ談話報告ノ件……………五一八

六 二一四 八月三十日 一三六 在伊國今井臨時代理大使ヨリ
日伊通商暫定取極ノ交換公文案ニ関スル件……………一八八

別電 八月三十日在伊國今井臨時代理大使宛
電報第一三七号……………一八八

八月三十日附伊國外務省ヨリノ正式通牒……………一八八

二 八月三十日在伊國今井臨時代理大使宛內田外務大臣宛
電報第一三八号、在伊國今井臨時代理大使回答案……………一八九

附記 八月三十一日今井臨時代理大使宛內田外務大臣宛電報第一四二号、右回答案ノ宛名ノ件……………一八九

一六 五四四 八月三十日 六四七 在米國出淵代理大使ヨリ
コルチャック政府承認問題ニ関スルモリス駐日大使電報ノ趣旨及諜報者ノ情報ニ付報告ノ件……………五六七

一六 五四五 八月 內田外務大臣ヨリ
新ニ西比利亞ニ簡派セラルヘキ大使ニ関シ内訓ノ件……………五六八

附屬書 西北利亜簡派ノ大使ニ関スル制度案綱要……………五六九

附記 八月七日內田外務大臣ヨリ原内閣總理大臣宛上申書(一)(二)……………五七〇

二 加藤大使ヘ口述事項……………五七〇

九月

七 二四二 九月一日 送一機密 幣原外務次官ヨリ 犬塚農商務次官宛 ……二三四

七 二四三 九月一日 送一送 田中通商局長ヨリ 小島露領水産組合長宛 ……二二五

七 二四四 九月一日 一〇八 内田外務大臣ヨリ 在浦潮菊池總領事宛 (電報) 日露漁業協約等ノ効力持續ニ関スル 文書交換及公表ニ付通報ノ件 ……二二五

附記 九月六日附内田外務大臣宛在浦潮菊池總領事宛通一機密送 第二四号 同右件 ……二二五

七 二四五 九月一日 二一八 内田外務大臣ヨリ 在ニコライエウスク石田、在ペトロパウロフスク緒方商領事代理各宛 (電報) 日露漁業協約等ノ効力持續ニ関スル 文書交換及公表並協定ノ明文以外ノ權利利益ニ付通報ノ件 ……二二六

附記 九月六日附内田外務大臣宛在ニコライエウスク石田領事代理及在ペトロパウロフスク緒方領事代理宛通一機密送第一一二号 日露漁業協約ノ効力持續ニ関スル件 ……二二七

一二 三八〇 九月一日 通公 一三四 在サンパウロ野田總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛 伯国行移民ノ入国条件及附与特典ニ関シ報告ノ件 ……三八八

附屬書 外国移民ノ伯国入国条件及之ニ連邦政府ヨリ附与セラルル特典等ニ関スル報告書 ……三八九

五 一九四 九月二日 二三六 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 暫定取極ニ関スル公文交換促進方ノ訓令執行ノ件 ……一六八

一六 五四六 九月二日 八三五 在ハルビン佐藤總領事ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) モーリス米国大使オムスクヨリノ婦路佐藤總領事カ面談意見ヲ徴セシ件 ……五七五

八 二七六 九月五日 機送 二 在ベトロパウロフスク緒方領事代理ヨリ 内田外務大臣宛 露領水産組員堤清六經營漁場ノ罐詰工場及製品等露国漁業監視官ニ依リ差押ヘラレタル事件ノ顛末報告ノ件 ……二四四

一二 三八一 九月五日 通公 一四〇 在サンパウロ野田總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛 呼寄移民奨励ニ関スル新聞切抜送付ノ件 ……三九一

附屬書 大正八年八月三十一日伯刺西爾時報第百壹号切抜 ……三九二

一七 六二二 九月五日 田中陸軍大臣ヨリ 内田外務大臣宛 參謀本部ヨリ浦潮派遣軍朝鮮軍及關東軍ノ各司令官ニ与フル訓令案並參謀總長及陸軍大臣ヨリ浦潮派遣軍司令官ヘノ指示ヲ陸相ヨリ外相ニ提示ノ件 ……六五一

五 一九五 九月六日 送一機密 一七 内田外務大臣ヨリ 原内閣總理大臣宛 日仏通商暫定取極締結ニ関シ閣議申請ノ件 ……一六八

五 一九六 九月六日 三四八 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 日仏暫定取極ハ九月九日以前締結困難ニ付右期日以後締結迄ノ期間ニ對シ該取極ノ効力溯及ニ関シ仏国政府ニ申入方訓令ノ件 ……一七〇

一五 四九三 九月六日 四四八 在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 近ク西比利亞自治団大会ヲ開催シ西比利亞獨立州政府樹立ノ計畫ナル旨ニ在浦潮民党首領ヤクシヨフ内話ノ件 ……五二〇

五 一九七 九月 八 日 送 条一機密 幣原外務次官ヨリ 神野大蔵次官宛 日仏通商暫定取極ガ九月十日以後締結ノ場合ニ於テ右期日ヨリ取極締結セシムル計画ナルニ付關係税関ニ適當訓令方依頼ノ件 一七一

五 一九八 九月 八 日 内閣外甲 五〇 原内閣總理大臣ヨリ 内田外務大臣宛 日仏暫定取極締結ニ関シ指令ノ件 一七一

五 一九九 九月 八 日 送 条一機密 内田外務大臣ヨリ 在本邦他国大使宛 日仏通商暫定取極ニ関スル件 一七二

二 三二二 九月 八 日 通公 一四二 在サンパウロ野田總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛 身代渡伯ノ沖繩県人ニ関スル件 三九三

七 二四六 九月 九 日 幣原外務次官ヨリ 在本邦露国大使宛 日露漁業協約効力持続ニ関スル日露兩國政府交換文書写送付ノ件 二二七

一五 四九四 九月 九 日 四五一 在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報) モリス米国大使コルチャックノ權威失墜セメノフノ有害人物ナルコト等ニ関シ來談ノ件 五二一

八 二七七 九月 十 日 一四八 小島露領水産組合組長ヨリ 田中通商局長宛 露領水産組合事業船鵬丸牛島技師ノ報告書写送附ノ件 二四七

附屬書 右報告書

二四七

二 三三三 九月 十 日 二七 在サンパウロ野田總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 伯国行移民ノ家族構成拡大ニ関シ更ニ讓歩ヲ得タルニ付報告ノ件 三九五

一五 四九五 九月 十 日 四五七 在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 西比利亞自治政府樹立ノ計画ニ関スル西比利亞州議會議長ノ内話報告並之ニ対スル我方ノ態度及加藤大使オムスク行ニ関シ意見稟申ノ件 五二二

六 二一五 九月 十一 日 条一機密 七六 内田外務大臣ヨリ 原内閣總理大臣宛 日伊通商暫定取極締結方ニ関シ閣議申請ノ件 一八九

一二 三八四 九月 十一 日 通機密 三 在サンパウロ野田總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛 伯国行移民ノ家族構成拡大ニ関シ更ニ讓歩ヲ得タル件 三九五

一五 四九六 九月 十四 日 三七七 内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電報) シペリア自治政府樹立運動ニ対スル我方ノ態度及加藤大使オムスク行ニ関シ回訓ノ件 五二四

一六 五四七 九月 十四 日 二二五 在オムスク松島書記官ヨリ 内田外務大臣宛(電報) オムスクヘ加藤大使ノ赴任ハ是非トモ実現セラレタキ旨意見具申ノ件 五七八

五 二〇〇 九月 十五 日 条一機密 七三 内田外務大臣ヨリ 原内閣總理大臣宛 日仏通商暫定取極締結方ニ関シ御裁可奏請ノ件 一七二

六 二一六 九月 十五 日 五五 内田外務大臣ヨリ 在伊国今井臨時代理大使宛 日伊通商暫定取極御裁可奏請中ナル旨回報ノ件 一九一

附記一

一九二

七 二四七 九月 十五 日 通一機密 三六 神野大蔵次官宛 日露漁業協約ノ効力持続ニ関シ通報並右ニ付關係官庁ニ示達方依頼ノ件 二二七

附記二

一七三

五 二〇一 九月 十八 日 内閣外甲 五二 高橋内閣書記官長ヨリ 植原外務次官宛 日仏及日伊通商暫定取極ニ関シ枢密院會議開催ニ付通知ノ件 一七三

附記一

一七三

二

一七五

三

一七七

四

一七八

五	二〇二	九月十九日	内閣外甲 五三	原内閣総理大臣ヨリ 内田外務大臣宛	日仏通商暫定取極御裁可ノ件……………一八〇
五	二〇三	九月十九日	三五七	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報）	日仏通商暫定取極ニ関スル公文ノ交換ハ九月十九日附ヲ以テ行ハレタル旨通報ノ件……………一八〇
六	二一七	九月十九日	内閣外甲 五二	原内閣総理大臣ヨリ 内田外務大臣宛	日伊通商暫定取極御裁可ノ件……………一九四
一二	三八五	九月十九日	通公 一五一	在サンパウロ野田総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛	日本移民伯国誘入ニ賛成ノ新聞記事 訳報ノ件……………三九九
五	二〇四	九月二十日	外務省告示 一九	外務省告示	日仏通商暫定取極成立ニ関シ告示ノ件……………一八〇

附記

右取極ノ交換公文ヲ掲載セル同日附官報ノ官庁事項……………一八一

六	二一八	九月二十日	五六	内田外務大臣ヨリ 在伊国今井臨時代理大使宛（電報）	日伊通商暫定取極回答公文発送方訓令ノ件……………一九四
一二	三八六	九月二十日	二六	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ野田総領事代理宛（電報）	伯国行呼寄移民ノ証明範圍拡張承認ノ件……………四〇四
一二	三八七	九月二十二日	通三送 九四三	外務省通商局ヨリ 伯刺西爾移民組合宛	伯国行移民ノ家族構成条件変更ニ関スル件……………四〇四
一二	三八八	九月二十二日	通公三七	在リベロンプレート多羅間分館主任ヨリ 内田外務大臣宛	偽名渡伯ノ沖繩県人ニ関スル件……………四〇四
一六	五四八	九月二十二日	三八六	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛（電報）	加藤大使一行浦潮向出発ノ件……………五七九

二	四五	九月二十三日	五五	在ポーランド杉村領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	オレゴン州ニ於ケル排日団体ノ日本人ヘノ土地売却又ハ貸与禁止運動報告ノ件……………四〇
六	二一九	九月二十三日	一七三	在伊国今井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日伊間ノ電報延着ニ付注意方稟申ノ件……………一九四
七	二四八	九月二十三日	蔵一〇一 六〇	神野大蔵次官ヨリ 埴原外務次官宛	日露漁業協約ノ効力持続ニ関シ各税関ニ通達済ノ件……………二二八
一二	三八九	九月二十三日	通公 一五四	在サンパウロ野田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	サンパウロ州ノ一耕地主ノ排日論議報ノ件……………四〇五
一二	三九〇	九月二十四日	通公三八	在リベロンプレート多羅間分館主任ヨリ 内田外務大臣宛	偽名渡伯ノ長崎県人ニ関スル件……………四〇九
一二	三九一	九月二十四日	通公 一五五	在サンパウロ野田総領事代理ヨリ 内田外務大臣宛	サンパウロ市私立商業学校教師ノ日本移民排斥論議報ノ件……………四〇九
一七	六一三	九月二十四日		大井浦潮派遣軍司令官ヨリ 田中陸軍大臣宛	西比利亜鐵道守備問題、過激派ニ対スル態度等ニ関シ在本邦米國大使「モーリス」氏トノ会談ニ付報告ノ件……………六五五
六	二二〇	九月二十五日	一六九	在伊国今井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日伊暫定取極ニ関スル我回答公文発送済ノ件……………一九五
六	二二一	九月二十九日	条一合送 一二六八	幣原外務次官ヨリ 犬塚農商務、神野大蔵各次官宛	日伊通商暫定取極ニ関スル公文写送付ノ件……………一九五
一四	四四六	九月二十九日	通送 三一四	在倫敦矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	北露ヨリ朝鮮人引揚ニ関スル件……………四七〇

一	一八	九月三十日	一四七	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国下院移民委員会ニ於ケルギュリ ック博士ノ移民案反対意見在米代理 大使ヨリ報告ノ件……………一六
一〇	三四一	九月三十日	九一	在オタワ古谷総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カナダ政府ハ領補欠選挙法ヲ領選挙 法ト一致セシムル為ノ改正案ヲ提出 シタル件……………三四一
一〇	三四二	九月三十日	九二	在オタワ古谷総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	カナダ補欠選挙法改正案下院第三読 会通過ノ模様報告ノ件……………三四二
一五	四九七	九月三十日	一三二	在オムスク松島書記官ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在浦潮聯合國軍事代表委員会ヨリ 「ロザノフ」將軍ニ対シ浦潮要塞撤 退要求シタルニ付オムスク政府抗議 ノ件……………五二四

別電 同日松島一等書記官宛内田外務大臣宛電報第二三二号……………五二五
右オムスク政府ノ抗議書……………五二五

十月

六	二二二	十月一日	条一合送 一二七三	幣原外務次官ヨリ 大塚農商務、神野大蔵、秦通 信各次官宛	日伊通商暫定取極ニ関スル公文ノ交 換済ニ付通報ノ件……………一九五
七	二四九	十月一日	通一送 〇〇	内田外務大臣ヨリ 在浦潮菊池総領事宛	日露漁業協約ノ効力持続ニ関シ極東 漁業行政庁ニ於テオムスク政府ヨリ 訓令ヲ受ケ居ルヤ問合方訓令ノ件 ……………二二八
一二	三九二	十月一日	通三機密 送二	内田外務大臣ヨリ 在伯国堀口公使宛	対伯国啓発運動ノ為機密費支出ノ件……………四一二

一七	六一四	十月一日		在本邦露国大使ヨリ 内田外務大臣宛	鐵道保護ノ為日本軍ヲイルクック 以西ニ派遣方要請覚書送付ノ件……………六五七
----	-----	------	--	----------------------	---

附屬書 右覚書……………六五八

六	二二三	十月二日	外務省告示 示二二一	外務省告示	日伊通商暫定取極成立ニ関スル件……………一九六
---	-----	------	---------------	-------	-------------------------

附記 右取極ノ交換公文ヲ掲載セル同日附官報ノ官庁事項……………一九六

一二	三九三	十月二日	通三送 六八	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ野田総領事代理 宛	伯国行移民呼寄証明ノ範圍拡張ニ関 スル件……………四一二
----	-----	------	-----------	--------------------------------	---------------------------------

一二	三九四	十月二日	通三合送 三〇九	内田外務大臣ヨリ 在リオデジャネイロ岩手領事 及在リベロンプレート多羅間 分館主任各宛	伯国行移民呼寄証明ノ範圍拡張ニ関 スル件……………四一二
----	-----	------	-------------	--	---------------------------------

一六	五四九	十月二日	四九六	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加藤大使一行オムスク向出發ノ件……………五七九
----	-----	------	-----	----------------------------	-------------------------

一二	三九五	十月四日	通公 一六七	在サンパウロ野田総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛	身代渡航ノ沖繩県人二名ニ関スル件……………四一三
----	-----	------	-----------	--------------------------------	--------------------------

三	七七	十月五日	一四九	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本婦人ノ写真結婚ニ依ル渡米ヲ日 本政府ニ於テ禁止スル様稟請ノ件……………六七
---	----	------	-----	---------------------------	--

一七	六一五	十月六日		在本邦露国大使ヨリ 内田外務大臣宛	イルクック以西へ日本軍派遣問題 ニ関シ日本政府ノ迅速ナル決定ヲ懇 請ノ件……………六五九
----	-----	------	--	----------------------	--

一	一九	十月七日	三七	在シアトル松永領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国移民法中ノ時効ノ制度ニ関シ報 告ノ件……………一七
---	----	------	----	----------------------------	--------------------------------

二 四六 十月七日 一五三 在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 加州十四郡地主会長ノ上院議員宛ノ
排日運動及加州労働組合連合会ノ排
日決議案報告ノ件……………四一

一二 三九六 十月七日 通公
一六九 在サンパウロ野田総領事代理
ヨリ 本移民排斥論訳報ノ件……………四一三

一二 三九七 十月八日 通公
一七一 在サンパウロ野田総領事代理
ヨリ 身代渡航ノ沖繩県人ニ関スル件……………四一七

三 七八 十月九日 一五七 在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 写真結婚婦人ノ渡米状況ノ活動写真
撮影防止方ニ付在米大使へ稟請ノ件……………七〇

二 四七 十月十日 一五九 在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 加州労働組合連合会及米国在郷軍人
会ノ排日決議ニ付報告ノ件……………四一

一七 六一六 十月十日 日本外務省ヨリ
在本邦露国大使館宛 イルクーツク以西ニ日本軍派遣ノ要
請ニ対シ回答ノ件……………六六〇

一 二〇 十月十一日 七二八 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 米国上院議員フィラン日本人ノ入国
ヲ禁止スル移民法修正案提出ノ件……………一七

附記 大正八年米国議會ニ提出ノ移民法案……………一七

二 四八 十月十一日 六七 内田外務大臣ヨリ
在桑港太田総領事宛(電報) 加州十四郡地主会ニ関シ調査報告方
訓令ノ件……………四一

三 七九 十月十一日 三〇 在ロスアンゼルス大山領事
ヨリ 写真結婚ニ依ル妻呼寄禁止ノ例外ト
シテ婚約婦人ノ仮渡米ヲ認ムル案採
用方稟申ノ件……………七〇

三 八〇 十月十一日 三九 在シアトル松永領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 写真結婚婦人ノ渡米ヲ打切ルヲ得策
トスル旨松岡書記官ヨリ上申ノ件……………七一

一五 四九八 十月十一日 九三八 在ハルビン佐々木総領事代理
ヨリ 加藤大使トセメノフノ車中会谈ニ関
シ在チタ古沢副領事ヨリ報告ノ件……………五二五

一五 四九九 十月十三日 機密本
一三 在チタ古沢副領事ヨリ 黒沢陸軍大佐ガセメノフヨリ内聞セ
ル時局観具報ノ件……………五二六

附屬書 右セメノフ時局観……………五二七

二 四九 十月十四日 一六二 在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 加州十四郡地主会ニ関シ調査報告ノ
件……………四二

三 八一 十月十四日 田中通商局長ヨリ
東洋汽船大阪商船日本郵船各
株式会社社長宛 本邦写真結婚婦人ノ米国上陸ノ際ノ
活動写真撮影ノ企ニ対シ適宜措置方
指示ノ件……………七二

一七 六一七 十月十四日 七三二 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中国鉄道、中国新借款団組織及西比
利亜ニ於ケル日米提携ノ諸問題ニ関
スルロング國務省第三次官ノ内話報
告ノ件……………六六一

一 二一 十月十六日 公四七四 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 米国上院議員提出ノ移民法修正案送
付ノ件……………一九

附記 右移民法修正案……………一九

一二 三九八 十月二十日 通三合送
一三八六 田中通商局長ヨリ サンパウロ州行農業移民ノ家族構成
要件変更ノ件……………四一八

一七 六一八 十月二十日 公三〇 在イルクーツク二瓶領事ヨリ
内田外務大臣宛 日本ノ対西比利亜經濟的進出ノ方策
ニ付意見具申ノ件……………六六三

附記 十一月十日附在チタ古沢副領事調書対西伯利政策管見……………六六五

一六 五五〇 十月二十一日 在本邦露国大使館ヨリ
日本外務省宛 オムスク政府財政援助方懇請ニ関ス
ル件……………五七九

七	二五〇	十月二十二日	公一八九	在浦潮菊池総領事ヨリ 内田外務大臣宛	日露漁業協約ノ効力持続ニ関シ極東 漁業庁ハ政府ノ訓令ニ接シ居ル趣ナ ル旨回申ノ件	二二九
一一	三六〇	十月二十二日	保 九〇〇九	新妻大分県知事ヨリ 内田外務大臣宛	秘露国行契約移民森岡移民会社間書 面契約認可ノ件	三五七
一六	五五一	十月二十五日		日本外務省ヨリ 在本邦露国大使館宛	オムスク政府ニ軍需品供給ノ件	五八五
三	八二	十月二十九日	一七三	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州ニ於ケル排日ノ氣勢深刻ナルニ 鑑ミ写真結婚日本婦人ノ渡米禁止ノ 勸告ヲ在米日本人会参事会ラシテ議 決発表セシムル旨報告ノ件	七二
一一	三六一	十月二十九日	通三一 二九五	田中通商局長ヨリ 岡警視総監宛	森岡移民会社ヨリ提出ノ秘露行契約 移民ノ書面契約案承認願ニ関スル件	三五七
一七	六一九	十月二十九日	二五七	在オムスク加藤大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスク政府ノ依頼ニ依リ仏国ジャ ナン將軍ヨリ西部西比利亜ヘノ日本 軍派遣方申出ニ付請訓ノ件	六七〇
三	八三	十月三十日	一七五	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在米日本人会参事会ガ写真結婚婦人 ノ渡米禁止勸告ヲ決議シ目下其発表 ノ手配中ナル旨報告ノ件	七四
三	八四	十月三十一日	一七七	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在米日本人会ノ写真結婚日本婦人渡 米禁止ニ関スル決議発表ノ件	七四

十一月

一二	三九九	十一月一日	通三送一 〇二五〇	田中通商局長ヨリ 沖繩県知事宛	伯国ニ偽名渡航ノ沖繩県人ニ関スル 件	四一九
----	-----	-------	--------------	--------------------	-----------------------	-----

二	五〇	十一月二日	一七八	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州議會ガ日本人ノ農地取得ヲ阻止 スル立法ノ為ノ臨時州議會召集ヲ知 事ニ要請スル決議ヲ採択ノ件	四二
---	----	-------	-----	---------------------------	---	----

別電一	同日在桑港太田総領事宛内田外務大臣宛電報第一七八号	加州議會ノ右決議	四四
二	同右電報第一七八号別電第二 右決議ニ関スル加州知事ノ声明	加州知事ノ右決議	四五

三	八五	十一月三日	公三二一	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	写真結婚廃止ニ関スル在米日本人会 ノ宣言新聞切抜送付ノ件	七四
---	----	-------	------	-----------------------	---------------------------------	----

一六	五五二	十一月四日	二六二	在オムスク加藤大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本軍イルクーツク以西派遣ニ対シ 報償提供ノ用意アル旨オムスク政府 申出ニ関シ請訓ノ件	五八六
----	-----	-------	-----	----------------------------	---	-----

一六	五五三	十一月四日	浦参 一九六三	在浦潮軍参謀長ヨリ 参謀次長宛(電報)	オムスク政府ノ撤退輸送開始状況ニ 関スル件	五八七
----	-----	-------	------------	------------------------	--------------------------	-----

一七	六二〇	十一月四日	二六二	在オムスク加藤大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスク政府大蔵大臣日本軍ノ西部 西比利亜派兵ヲ要望シ同大臣及仏国 ジャナン將軍ヨリ其報償ニ付申出ノ 件	六七一
----	-----	-------	-----	----------------------------	---	-----

二	五一	十一月五日	三五	在ロスアンゼルス大山領事ヨ リ内田外務大臣宛(電報)	加州知事ハ日本人問題ノ為ニ臨時州 議會ヲ召集スルコトナカルベシトノ 情報報告ノ件	四六
---	----	-------	----	-------------------------------	--	----

一二	四〇〇	十一月五日	通三送一 〇三四七	田中通商局長ヨリ 長崎県知事宛	鎌倉丸乗船亜国行移民ニ関スル件	四一九
----	-----	-------	--------------	--------------------	-----------------	-----

一六 四〇一 十一月五日 通三合送 伯刺西爾移民組合日本郵船株式會社各宛 鎌倉丸乗船重国行移民ニ関スル件……………四一九

一六 五五四 十一月五日 五二一 在浦潮松平政務部長ヨリ オムスク政府ノイルクーツクへ移転決定ニ関スル件……………五八七

一六 五五五 十一月六日 一二四 在オムスク加藤大使宛(電報) コルチャック政府ノオムスク撤退情況ニ付電報方訓令ノ件……………五八八

一六 五五六 十一月六日 浦参 在浦潮派遣軍参謀長ヨリ オムスクヨリ加藤大使及特務機關撤退ニ関スル件……………五八八

一六 五五七 十一月六日 一〇二九 在ハルビン佐々木総領事代理オムスクノ陥落近キ形勢ニ鑑ミ之ガ對処ノ措置ニ付報告ノ件……………五八九

一七 六二一 十一月六日 一二三 在オムスク加藤大使宛(電報) 西部西比利亞ニ日本軍派遣方オムスク政府ノ要望ニ対スル我方ノ態度電報ノ件……………六七二

一六 五五八 十一月七日 一〇三九 在ハルビン佐々木総領事代理オムスクノ決定ニ関スル件……………五八九

一七 六二二 十一月七日 大井浦潮派遣軍司令官ヨリ 過激派軍ノ急進ノ前ニオムスク防禦ノ見通シ極メテ困難ナル狀況ニ付報告ノ件……………六七三

二 五二 十一月八日 一八一 在桑港太田総領事ヨリ 桑港市参事會員ガラハ―排日決議案ヲ市参事會ニ提出ノ件……………四六

一六 五五九 十一月八日 哈市特 在ハルビン石坂少将ヨリ オムスク政權ノ将来ヲ中心ニ時局觀測ノ件……………五九〇

二 五三 十一月十日 公二二二 在ロシアアンゼルス大山領事ヨリ 南加州ニ於ケル諸団体ノ排日決議ニ関スル件……………四六

一五 五〇〇 十一月十日 五二四 在浦潮松平政務部長ヨリ 浦潮ニ於ケル民黨側ノ運動其ノ東部西比利亞ニ新政府樹立ノ計画ニ関シ「ガイダ」將軍ノ談話報告ノ件……………五二八

一七 六二三 十一月十日 四九二 在英國珍田大使ヨリ 在西比利亞チェック軍波蘭軍等ノ急速歸國ノ為大連港使用許可方英國外務省ヨリ申越ノ件……………六七四

二 五四 十一月十一日 一八五 在桑港太田総領事ヨリ 桑港市参事會ガ日本人ノ借地禁止法制定ノ為臨時州議會召集方決議ノ件……………四七

二 五五 十一月十一日 機密公 在桑港太田総領事ヨリ 加州排日臨時州會防止方ニ関シ幣原在米大使ニ上申ノ件……………四八

一四 四四七 十一月十一日 四九三 在英國珍田大使ヨリ ロイド、ジョージ首相ノ對露政策演說ニ對シ英國言論界賛否均分ノ件……………四七一

二 五六 十一月十二日 一八八 在桑港太田総領事ヨリ 米國在郷軍人會ノ全國大會ニ於テ排日の決議採択ノ件……………五一

一五 五〇一 十一月十二日 浦参 在浦潮派遣軍司令官ヨリ オムスク政府軍ノ崩壊、浦潮ニ於ケル社会革命一派ノ擡頭ニ顧ミ西比利亞ニ民意ヲ基礎トスル鞏固ナル政權樹立ノ必要ニ関シ具申ノ件……………五二九

一七 六二四 十一月十三日 四四 在イルクーツク二瓶領事宛 イルクーツク以西ニ日本ガ出兵シ難キ事情ハ從前ト変ラザル旨加藤大使ニ回訓ノ件……………六七四

一六	五六〇	十一月十五日	一一六八	在本邦露国大使ヨリ 内田外務大臣宛	オムスク政府イルクーツクへ移転決 定ノ件	五九一
一六	五六一	十一月十五日	五三四	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスク政府ノ避難先タルイルク ーツクノ情勢ニ付報告ノ件	五九四
一七	六二五	十一月十五日	五三七	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	イルクーツク軍管区司令官ガ反政府 的社會黨員ヲ逮捕シチュック代表者 ガ其釈放ヲ要求シタル旨ニ瓶領事ヨ リ報告ノ件	六七五
一七	六二六	十一月十五日	五四〇	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チュック代表ノ民黨釈放運動ニ関シ イルクーツク軍管区司令官ヨリ日本 兵三中队派遣ノ要請アリタル旨ニ瓶 領事ヨリ報告ノ件	六七五
三	八六	十一月十七日	八二	内田外務大臣ヨリ 在桑港太田總領事宛(電報)	過去五年間ノ写真結婚ノ妻呼寄証明 書發給數及渡航實數查報方訓令ノ件	七五
三	八七	十一月十七日	一九二	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	千九百十二年以降ノ写真結婚婦人ノ 實際渡航數報告ノ件	七五
一五	五〇二	十一月十七日	二三七	在浦潮菊池總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	浦潮ニ於ケル「ガイダ」等ノ獨立運 動挫折ノ件	五三一
三	八八	十一月十八日	八三	内田外務大臣ヨリ 在桑港太田總領事宛(電報)	在米日本人会ノ写真結婚廃止宣言詳 細報告方訓令ノ件	七五
三	八九	十一月十八日	四〇	在ロサンゼルス大山領事ヨ リ内田外務大臣宛(電報)	写真結婚ノ妻呼寄証明書發給數報告 ノ件	七六
三	九〇	十一月十九日	八四	内田外務大臣ヨリ 在桑港太田總領事宛(電報)	写真結婚婦人ノ渡航實數トハ桑港上 陸者ノ數ナリヤ問合ノ件	七六

附記 十一月十八日第五戰隊司令官ヨリ軍令部長宛電報第一二二番

五三一

一二 四〇二 十一月十九日 日本郵船株式会社ヨリ
外務省通商局宛 鎌倉丸乗船亞国行移民ニ関スル件……………四二〇

一六 五六二 十一月十九日 一九六八 在ハルビン佐々木總領事代理
ヨリ内田外務大臣宛(電報) オムスク陥落及加藤大使ノウオ・ニ
コラエフスクニ到着ノ旨報告ノ件……………五九五

二 五七 十一月二十日 一九四 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 加州チコ及コルサ地方ノ排日運動ニ
関スル件……………五一

二 五八 十一月二十日 一九七 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) Native Sons of the Golden West
ノ地方代表者ノ排日運動報告ノ件……………五二

三 九一 十一月二十日 八五 内田外務大臣ヨリ
在桑港太田總領事宛(電報) 証明書交付人名表中ニ写真結婚ノ印
記入方訓令ノ件……………七六

三 九二 十一月二十日 一五一一 松田通商局長代理ヨリ
各地方長官及警視總監宛 過去五年間ノ写真結婚婦人ニ対スル
渡米旅券下附數取調方ニ関スル件……………七六

三 九三 十一月二十日 九五 在ホノルル古谷總領事代理ヨ
リ内田外務大臣宛(電報) 過去五年間ノ写真結婚ノ妻呼寄証明
書發給數及實際渡航數報告ノ件……………七七

三 九四 十一月二十日 一九三 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 写真結婚婦人ノ渡航實數トハ桑港上
陸者ノ數ナル件……………七七

三 九五 十一月二十日 一九六 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 在米日本人会參事員会ノ写真結婚廃
止ニ関スル決議文報告及決議ニ対ス
ル在留日本人ノ反応ニ付報告ノ件……………七七

一二 四〇三 十一月二十日 通三送一
〇八三六 田中通商局長ヨリ 身代渡伯ノ沖繩県人ニ関スル件……………四二二

一三 四一七 十一月二十日 政公信
二四五 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ 墨国「ヴィヤ」ノ副将「アンヘレス」……………四三四

一六	五六三	十一月二十日	五二四	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	露国内反過激派援助ニ関スル英國政府ノ方針ニ付珍田大使カーゾン卿会談ノ件……………五九五
三	九六	十一月二十一日	四四	在シアトル松永領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	写真結婚ノ妻呼寄証明書発給数及実際渡航数ニ付報告ノ件……………七八
三	九七	十一月二十一日	一九八	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州婦人俱樂部聯合会北部会長ノ写真結婚排斥演説及ハースト新聞ノ同種反對運動報告ノ件……………七九
一六	五六四	十一月二十一日	八三二	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	コルチャク政府ヘ財政援助其他ニ付國務長官ト会見ノ件……………五九六
一四	四四八	十一月二十二日	五一八	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ロイド、ジョーシ首相ノ對露政策演説ニ對スル英國論調ニ関スル件……………四七一
一六	五六五	十一月二十二日	五七一	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	コルチャク政権崩壊阻止ノ方策ニ関シ具申ノ件……………五九七
一七	六二七	十一月二十二日		日本外務省ヨリ 在本邦公使館宛	在西比利亞チエック軍波蘭軍等ノ帰還ノ為大連港使用許可方申出ニ對シ回答ノ件……………六七六
三	九八	十一月二十三日	八三一	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州排日立法案防止ノ為日本政府ハ写真結婚婦人ノ渡米ヲ禁止スル考無キヤト國務長官問質ノ件……………七九
三	九九	十一月二十三日	一九九	在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	写真結婚妻呼寄証明書発給数報告ノ件……………八一
三	一〇〇	十一月二十三日	四五	在シアトル松永領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	結婚ノ為婦國スル日本人ノ為ニ徵兵延期ノ特典ヲ与フル様稟請ノ件……………八一
三	一〇一	十一月二十四日	八三七	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本政府ニ於テ写真結婚ニ依ル婦人ノ渡米ヲ禁止スル様稟申ノ件……………八一
三	一〇二	十一月二十四日	保収九〇 六六ノ一	堀内埴玉原知事ヨリ 松田通商局長代理宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數調査回報ノ件……………八三
二	五九	十一月二十五日	七八〇	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	加州ノ排日臨時州議會召集阻止ノ必要ニ関シ埴原外務次官ヨリ在本邦米國大使ヘ談話ノ件……………五二
三	一〇三	十一月二十五日	保収 九三八三	力石次城原知事ヨリ 松田通商局長代理宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數調査ノ件……………八三
三	一〇四	十一月二十五日	保一 一八	堀田滋賀原知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數調査ニ関スル件……………八四
三	一〇五	十一月二十五日	高機 四九六六	名尾秋田原知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數調査ニ関スル件……………八四
一二	四〇四	十一月二十五日	通三送 八〇	内田外務大臣ヨリ 在サンパウロ野田總領事代理宛	鎌倉丸乗船亞國行移民ニ関スル件……………四二二
三	一〇六	十一月二十六日	保収七六 一六ノ一	長野山梨原知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數調査回報ノ件……………八四
三	一〇七	十一月二十六日	保収一六 二二五	有吉兵庫原知事ヨリ 松田通商局長代理宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數取調方ニ関スル件……………八五
三	一〇八	十一月二十六日	未収保一 七四八二	宮田福島原知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數取調方ノ件……………八五
三	一〇九	十一月二十六日	保収一四 九八七	宮尾愛知原知事ヨリ 松田通商局長代理宛	写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下附數調査ニ関スル件……………八六
一二	四〇五	十一月二十六日	免保八六	石川県ヨリ 外務省宛	サンパウロ州行農業移民家族構成条件ニ関シ問合ノ件……………四二二
三	一一〇	十一月二十七日	通三合送 一五四二	田中通商局長ヨリ 各地方長官及警視總監宛	外国旅券下付出願処決通知表中ニモ写真結婚婦人明記方ニ関スル件……………八六

三 一一一 十一月二十七日 保 馬渡愛媛県知事ヨリ
数調査方ノ件 八六

附屬書 右下附数調

八七

三 一二二 十一月二十七日 高秘 木田川奈良県知事ヨリ
数取調回答ノ件 八七

三 一二三 十一月二十七日 秘保収発 道岡青森県知事ヨリ
数取調回答ノ件 八七

一三 四一八 十一月二十七日 政公信 在墨国伊藤臨時代理公使ヨリ
墨国「ヴィヤ」ノ副将「アンヘレス」
將軍銃殺ノ件 四三四

三 一二四 十一月二十八日 八乙保 佐竹香川県知事ヨリ
写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附
数調査回報ノ件 八八

三 一二五 十一月二十八日 保収 高知県知事ヨリ
写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附
数取調方ノ件 九〇

三 一二六 十一月二十八日 保一二二 山口県庁ヨリ
写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附
数取調回答ノ件 九〇

一六 五六六 十一月二十八日 八〇〇 内田外務大臣ヨリ
オムスク政府没落ノ形勢ニ対処スベ
キ方策ニ関シ米国外使ト意見交換並
訓令ノ件 五九八

別電

十一月二十九日内田外務大臣発在米国幣原大使宛電報第八
〇二号
在本邦米国外使ヨリ本国政府ニ電報セル十一月二十三日ノ
内田外務大臣在本邦米国外使會談要録 六〇〇

一六 五六七 十一月二十八日 閣議決定
オムスク政府軍及シベリアノ現状ニ
対スル我政府ノ意向開示ノ上米國政
府ノ方針意向確メ方在大使宛訓令
ニ関スル件 六〇二

一七 六二八 十一月二十八日 八〇〇 内田外務大臣ヨリ
オムスク政府軍が過激派ノ攻撃ニ対
抗シ得ザルガ如キ事態ニ於ケル聯合
國側ノ対策ニ関シ在本邦米国外使ト
會談ノ要領通報ノ件 六七六

別電一

同日内田外務大臣発幣原大使宛第八〇一号
右聯合國側ノ対策ニ関シ米国外政府ト協議方訓令ノ件 六七八
十一月二十九日内田外務大臣発幣原大使宛第八〇二号
在本邦米国外使ガ作成セル内田外務大臣トノ會談要領 六八〇

一七 六二九 十一月二十八日 八〇三 内田外務大臣ヨリ
聯合國側ニ依ル西比利亞住民救済ニ
関スル在本邦米国外使ノ進言ニ対ス
ル本国政府ノ意向確メ方訓令ノ件 六八二

二 六〇 十一月二十九日 機密公 在桑港太田總領事ヨリ
加州チコ及コルサ地方ノ排日運動ニ
関スル「ガイ」博士ノ視察報告等ニ
付報告ノ件 五三

三 一一七 十一月二十九日 保甲 湯地福井県知事ヨリ
写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附
数取調回答ノ件 九一

三 一一八 十一月二十九日 収保 土岐石川県知事ヨリ
写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付
数取調方ニ関スル件 九一

一二 四〇六 十一月二十九日 通三送一 田中通商局長ヨリ
偽名渡伯ノ沖繩縣人ニ関スル件 四二三

附記

大正九年七月一日附川越沖繩縣知事ヨリ田中通商局長宛保
外親第七八六ノ二号 四二三

一七	六三〇	十一月二十九日	五九三	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在西比利亞チエック軍ノ反露国政府 の行動ヲ非難セル電報ヲコルチャツ クヨリ日英仏米各代表者ニ発セル旨 二瓶領事ヨリ報告ノ件……………六八三
一七	六三一	十一月二十九日	五九四	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本政府ノ対西比利亞政策ニ関シ二 瓶領事ヨリ意見具申ノ件……………六八四
一六	五六八	十一月三十日	一〇八七	在ハルビン佐々木総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加藤大使一行イルクーツク着ノ件……………六〇三

十二月

二	六一	十二月一日	二〇六	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州排日協会ノ排日臨時州会召集要 求運動報告ノ件……………五三
三	一一九	十二月一日	六一	在ポートランド杉村領事ヨリ 内田外務大臣宛	過去五年間ノ写真結婚妻呼寄証明書 発給数報告ノ件……………九二
三	一二〇	十二月一日	保移 一五〇四	熊本県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数取調回報ノ件……………九二
一二	四〇七	十二月一日	通三合送 三九一	内田外務大臣ヨリ 在リオデジャネイロ岩手 領事 リベロンブレイト分館多羅間 主任 在サンパウロ野田総領事代理 各宛	伯国サンパウロ州行農業移民家族構 成要件変更ノ件……………四二四
一二	四〇八	十二月一日	通三合送 一五七三	田中通商局長ヨリ 長崎県知事熊本県知事各宛	偽名渡伯ノ長崎県人ニ関スル件……………四二四

三	一一一	十二月二日	保 八八六三	折原千葉県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数取調方ノ件……………九二
三	一二二	十二月二日	保一四五 一三	群馬県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数取調ノ件……………九三
三	一二三	十二月二日	保 七三五八	財部島根県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数回答ノ件……………九三
三	一二四	十二月二日	保九四三 四ノ一	大津徳島県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数取調回報ノ件……………九四
三	一二五	十二月二日	保 八四四〇	沢田佐賀県知事ヨリ 松田通商局長代理宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数ニ関スル件……………九四
三	一二六	十二月二日	保九四三 五ノ一	関屋静岡県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数回答ノ件……………九五
三	一二七	十二月二日	保 五五六三	若林広島県知事ヨリ 松田通商局長代理宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数調査ハ非移民ノ移民両者ニ関スル モノナリヤ問合ノ件……………九五
三	一二八	十二月二日	二〇三	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在米日本人会臨時代表者会ニ於ケル 写真結婚廃止問題審議ノ模様報告及 日本政府ニ於テ右廃止ヲ決定スル様 稟請ノ件……………九六
三	一二九	十二月二日	二〇五	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在米日本人会代表者会ニ於ケル写真 結婚廃止問題ニ関スル太田総領事ノ 演説報告ノ件……………九七
三	一三〇	十二月二日	二〇七	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	加州在住日本人ノ写真結婚廃止運動 ヲ賞揚スル桑港クロニクル紙ノ社説 報告ノ件……………九七
一一	三六二	十二月二日		浅野森岡移民会社社長ヨリ 内田外務大臣宛	秘露国カサ、グランデ耕地日本人移 民監督ノ適任者選定方ニ関スル件……………三五八

一二 四〇九 十二月 二日 通三合送 田中通商局長ヨリ 伯国サンパウロ州行農業移民ノ家族 構成要件ニ関スル件……………四二四

二 六二 十二月 三日 二〇九 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 加州選出下院議員ノ日本人排斥運動 報告ノ件……………五四

三 一三一 十二月 三日 三三七五 阿部東京府知事ヨリ 田中通商局長宛 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数取調回報ノ件……………九八

一 一二 十二月 四日 二二二 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 米国ニ於テ市民タル資格無キ外人 ノ出生児ニ米国籍ヲ認メザル趣旨ノ 憲法修正案米國議會ニ提出ノ件……………二二

二 六三 十二月 四日 二二三 在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 加州諸団体ノ排日臨時州会召集要求 運動報告ノ件……………五四

一〇 三四三 十二月 四日 公三三五 在ヴァンクーヴァー浮田領事 ヨリ 東洋人排斥問題ニ関シ在オタワ総領 事ヘ報告ノ件……………三四二

三 一三二 十二月 五日 通三送一 田中通商局長ヨリ 若林広島県知事宛 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数調査ニ関スル問合ニ対シ回答ノ件……………九九

三 一三三 十二月 五日 保一〇一 田中通商局長宛 東國富山県知事ヨリ 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数取調回報ノ件……………九九

三 一三四 十二月 五日 八四五 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛 在米日本人会ニ於ケル写真結婚廢止 問題ニ関スル太田総領事ノ發言ニ付 同総領事ニ注意シタル件……………一〇〇

一〇 三四四 十二月 五日 機密二三 在オタワ古谷總領事ヨリ 内田外務大臣宛 加奈陀帰化日本人ノ選挙権ニ関スル 件……………三四三

一一 三六三 十二月 五日 通三送 六四 在里馬齋藤領事宛 秘露国カサ、グラデ耕地行日本契 約移民監督者ニ関スル件……………三五八

一六 五六九 十二月 五日 一八六 在長春村上領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) オムスク政府保管金塊輸送先ニ関ス ル件……………六〇四

三 一三五 十二月 六日 八四八 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 禁止ニ決定セルニ付其旨米國政府ニ 通告方訓令ノ件……………一〇一

三 一三六 十二月 六日 保収一三 八一五 太田新潟県知事ヨリ 田中通商局長宛(電報) 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数取調方ニ関スル件……………一〇三

三 一三七 十二月 八日 収一二七 一七 赤星長野県知事ヨリ 松田通商局長代理宛 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数ニ関シ調査回答ノ件……………一〇三

三 一三八 十二月 八日 九七三二 大分県警察部長ヨリ 田中通商局長宛 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数調査回答ノ件……………一〇三

一七 六三二 十二月 八日 六〇七 在清湖松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報) イルクーックニ於ケル親日的氣運ニ 付二瓶領事ヨリ報告ノ件……………六八五

三 一三九 十二月 九日 外秘 一八四一 林大阪府知事ヨリ 田中通商局長宛 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数調査方回答ノ件……………一〇四

一七 六三三 十二月 九日 八五五 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) オムスク政府ノ危機ニ際スル聯合國 側ノ対策ニ関シ訓令ニ基キ國務長官 ニ申入ノ件……………六八五

三 一四〇 十二月 十日 八五六 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 日本政府ノ写真結婚婦人ノ米大陸渡 航禁止ノ決定ヲ國務長官ニ通告ノ件……………一〇四

一四 四四九 十二月 十日 五八六 在瑞典國日置公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 英国ノ対ボルシェヴィキ政策転換ノ 意見具申ノ件……………四七二

三 一四一 十二月 十一日 通三合送 一六二七 田中通商局長ヨリ 神奈川兵庫長崎各県知事宛 写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下附 数取調方ニ関スル件……………一〇五

三	一四二	十二月十一日	通三合送 一六二八	田中通商局長ヨリ 各地方長官及警視總監宛	移民渡航許可証送致書ニ渡米写真結 婚婦人明示方ニ関スル件	一〇五
一七	六三四	十二月十一日	講 二五一五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスク政府ノ危機ニ際スル聯合國 側ノ対策ニ付仏国政府ノ意向問合ノ 件	六八六
三	一四三	十二月十二日	保 五五六三	若林広島県知事ヨリ 松田通商局長代理宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数調査ノ件	一〇六
一七	六三五	十二月十二日	八七〇	在米国外務大臣宛(電報)	約四万ノ在西比利亞波蘭人帰國ノ船 便ニ付日本政府ノ配慮ヲ得タキ旨在 米波蘭公使ヨリ申出アリタル件	六八七
一七	六三六	十二月十二日	八七一	在米国外務大臣宛(電報)	米国外對西比利亞政策ニ関スル「フ ィルド」氏ノ觀測報告及西比利亞ニ関 スル我方ノ提言ニ對スル米國回答ハ 手間取ルベキ旨報告ノ件	六八七
三	一四四	十二月十三日	保 七〇七一	馬淵京都府知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数調査ノ件	一〇六
一一	三六四	十二月十三日		森岡移民会社ヨリ 岡警視總監宛	秘露國カサ、グランデ耕地行契約移 民募集地方別予定届出ノ件	三五九
一四	四五〇	十二月十三日	送三三五	内田外務大臣ヨリ 在本邦英國臨時代理大使宛	本邦及ポルシェヴィク露西亞間通商 遮断ニ関シ對英國回答ノ件	四七三
三	一四五	十二月十五日		沖繩県知事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	写真結婚婦人ノ渡米旅券下付数調査 方ニ関シ其範圍問合ノ件	一〇七
三	一四六	十二月十五日	警保一〇 五七九	笠井北海道庁長官ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数取調方ニ関スル件	一〇七
三	一四七	十二月十五日	保一一三 五一	池松和歌山県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数調査報告ノ件	一〇八
三	一四八	十二月十五日	八七六	在米国外務大臣宛(電報)	写真結婚婦人渡航禁止問題ニ関シ國 務省第三次官トノ会谈報告及請訓ノ 件	一〇九

別電一

同日幣原大使宛内田外務大臣宛電報第八七七号
十二月八日幣原大使ガ國務長官ニ手交セル書面

一一〇

二

同右電報第八七八号
十二月十三日國務長官ランシングヨリ幣原大使宛書面

一一二

三

同右電報第八七九号
十二月十三日幣原大使ヨリ國務長官ヘ送付ノ覚書

一一二

写真結婚婦人渡米禁止ノ對米覚書等
發表方ニ関シ稟申ノ件

一一三

加藤大使ノイルクーツク滞在ニ関シ
訓電ノ件

六〇四

在米日本人ノ写真結婚廢止ニ對スル
広島県海外協會ノ反對ノ陳情書ニ付
申報ノ件

一一三

附屬書

右陳情書

一一三

身代渡伯ノ沖繩県人ニ関スル件

四二五

伯國サンパウロ州イグアベ行農業移
民ノ家族構成要件ニ関シ問合ノ件

四二五

五大國會議ニ於ケル對露國政策ノ討
議模様報告ノ件

四七三

別電 在英國珍田大使宛電報第五四二号
露国ニ関スル議事原案

四七六

一七 六三七 十二月十六日 八七二 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)
本年九月我方ガ西比利亜ニ歩兵一旅
團及工兵一大隊ヲ臨時派遣セル事情
通報ノ件 六八八

一七 六三八 十二月十六日 二八六 在イルクティック加藤大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
イルクティックヘノ日本軍緊急派遣方
外務大臣代理ヨリ願出ニ付請訓ノ件 六八八

三 一五一 十二月十七日 内田外務大臣ヨリ
沖繩県知事宛(電報)
写真結婚ノ範圍ニ付指示ノ件 一一五

三 一五二 十二月十七日 八七五 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)
写真結婚婦人ノ渡米旅券發給廢止期
日ヲ繰上ゲ得ザルモ米國政府ノ憂慮
スル事態トナラザルベキ旨米國政府
ヘ説明方訓令ノ件 一一五

三 一五三 十二月十七日 九八 内田外務大臣ヨリ
在桑港太田總領事宛(電報)
写真結婚婦人ノ呼寄証明書發給廢止
時期ニ關スル件 一一五

三 一五四 十二月十七日 二六 内田外務大臣ヨリ
在ヴァンクーヴァー浮田領事
宛(電報)
写真結婚婦人ノ渡米旅券ノ發給廢止
ニ關シ通報ノ件 一一六

三 一五五 十二月十七日 甲官一〇
九七ノ二 岡警視總監ヨリ
内田外務大臣宛
写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下付
數調査報告ノ件 一一六

三 一五六 十二月十七日 保一〇〇
〇二ノ二 香川岡山県知事ヨリ
田中通商局長宛
写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下付
數調査回報ノ件 一一六

三 一五七 十二月十七日 一三三八
一 岐阜県知事鹿子木小五郎ヨリ
田中通商局長宛
写真結婚婦人ニ對スル渡米旅券下付
數取調回報ノ件 一一七

一二 四一二 十二月十八日 通三送一
一八二三 田中通商局長ヨリ
沖繩県知事宛
身代渡伯ノ沖繩県人ニ關スル件 四二六

三 一五八 十二月十九日 三機密合
送五〇五 埴原外務次官ヨリ
各地方長官及警視總監各宛
写真結婚婦人ニ對シ渡米旅券下付廢
止ノ件 一一七

三 一五九 十二月十九日 通機密合
送一四四 内田外務大臣ヨリ
在米各公館長宛各通
写真結婚婦人ノ渡米旅券下付廢止ノ
件 一一九

三 一六〇 十二月十九日 通三機密
合送一四 内田外務大臣ヨリ
在オタワ古谷總領事
在ヴァンクーヴァー浮田領事各宛
写真結婚婦人ノ渡米旅券下付廢止通
報ノ件 一一九

三 一六一 十二月十九日 通三機密
送六九 埴原外務次官ヨリ
古賀拓殖局長宛
写真結婚婦人ニ對シ渡米旅券下付廢
止ノ件 一一九

三 一六二 十二月十九日 二三四 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日本政府ノ写真結婚婦人渡米禁止ニ
關スル米國上院議員フイーランノ論
評報告ノ件 一一九

三 一六三 十二月十九日 二二五 在桑港太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日本政府ノ写真結婚婦人渡米禁止ニ
關シ米國上院議員フイーラン再論評
ノ件 一二〇

一〇 三四五 十二月十九日 五三 在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
移民読書試験ノ実情ニ關スル件 三四五

一〇 三四六 十二月十九日 公三五〇 在ヴァンクーヴァー浮田領事
ヨリ
写真結婚ニ依ル妻呼寄証明書發給手
心ニ關シ請訓ノ件 三四五

一二 四一三 十二月十九日 保一二一
七八 長崎県知事ヨリ
田中通商局長宛
鎌倉丸乗船亞国行移民ニ關スル件 四二六

一四 四五二 十二月十九日 五四七 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
五大國會議ニ於ケル對露方針共同案
ニ關シ請訓及對露政策ノ討議振觀察
報告ノ件 四七七

一七	六三九	十二月十九日	八七八	内田外務大臣ヨリ 在米国幣原大使宛（電報）	イルクーツク危殆ノ形勢ニ鑑ミ我方 ノ増兵計画ニ対スル米国政府ノ意向……六八九 問合方訓令ノ件
一七	六四〇	十二月十九日	一三四	内田外務大臣ヨリ 在イルクーツク加藤大使宛 （電報）	イルクーツクヘノ出兵応ジ難キ旨回 訓ノ件……六九〇
二	六四	十二月二十日	機密公 一三	在ポルトランド杉村領事ヨリ 内田外務大臣宛	オレゴン州内排日運動ノ経過報告ノ 件……五五
三	一六四	十二月二十日	八八三	内田外務大臣ヨリ 在米国幣原大使宛（電報）	写真結婚婦人渡米禁止ニ関スル日米 間往復文書ヲ發表セザル様米国政府 ト打合方訓令ノ件……一二一
三	一六五	十二月二十日	機密公 五四	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	写真結婚廃止ニ関シ声明書公表ノ件……一二一
二	四一四	十二月二十日	通三送一 一八七五	田中通商局長ヨリ 新潟県知事宛	伯国サンパウロ州イグアペ行農業移 民ノ家族構成要件ニ関スル件……四二八
一二	四一五	十二月二十日	保移 一五七八	川口熊本県知事ヨリ 田中通商局長宛	偽名渡航ノ長崎県人ニ関スル件……四二八 コルチャック政府ノ内部事情ニ鑑ミ 其変転ニ対処スベキ方策ニ関シ意見……六九〇 具申ノ件
一七	六四一	十二月二十一日		大井浦潮派遣軍司令官ヨリ 参謀総長宛（電報）	加州モデスト及マーセッド地方ニ於 ケル対日本人形勢報告ノ件……五七七
二	六五	十二月二十一日	機密公 五六	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	國務省ニ於テ幣原大使ヨリ國務長官 ニ送付ノ写真結婚婦人問題ニ関スル……一二三 覚書全文公表ノ件
三	一六六	十二月二十二日	八九九	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付……一二四 数取調回答ノ件
一七	六四二	十二月二十二日	八八二	内田外務大臣ヨリ 在米国幣原大使宛（電報）	在西比利亜波蘭人ノ本国送還ノ為目 下日本ヨリ船腹提供シ得ザル旨回答……六九一 方ノ件
二	六六	十二月二十三日	機密公 五八	在桑港太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	米国下院議員カーソンノ加州ニ於ケル 日本人ノ土地取得及借地問題ニ関ス ル声明書送付ノ件……六一
三	一六八	十二月二十三日	保 五五六三	林広島県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ渡米旅券下付数調査 ノ件……一二四
三	一六九	十二月二十三日	保収 七一五四五	山脇三重県知事ヨリ 田中通商局長宛	写真結婚婦人ニ対スル渡米旅券下付 数取調回答ノ件……一二五
一六	五七一	十二月二十三日	六三〇	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	加藤大使一行イルクーツク来着ニ付 二瓶領事及小柳「チタ」ニ引揚方請……六〇四 訓ノ件
一七	六四三	十二月二十三日	六三一	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在浦潮大井司令官ハ加藤大使ノ要求 アレバイルクーツクヘ日本軍派遣ノ……六九二 意向ナル旨報告ノ件
一七	六四四	十二月二十三日	一一五〇	在ハルビン佐々木総領事代理 ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	東部西比利亜総軍司令官ニ「セメノ フ」任命ニ関シ在チタ古沢副領事ヨ……六九二 り報告ノ件
三	一七〇	十二月二十四日	九〇二	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	米国下院ニ於テ加州選出議員Rafter ハ写真結婚婦人渡米問題ハ結了ナリ……一二六 ト述ベタル旨報告ノ件

三 一七一 十二月二十四日 九〇五 在米國幣原大使ヨリ
ニ於テ公式覚書以外発表セザル旨言……………一二六
明ノ件

三 一七二 十二月二十四日 二三八 在桑港太田総領事ヨリ
「サクラメント、ビー」ノ論評報告……………一二六
ノ件

附記 在米國日本総領事館領事館ニ依ル写真結婚婦人呼寄証明発

給数(外務省調)……………一二七

一七 六四五 十二月二十四日 六三四 在浦潮松平政務部長ヨリ
イルクーツクノ状勢危険ニ付引揚希
望ノ在留民ヲ引揚ニ決定セル旨二瓶……………六九三
領事ヨリ報告ノ件

一七 六四六 十二月二十四日 九〇四 在米國幣原大使ヨリ
西比利亜ヘノ日本軍増派問題ニ関シ
米國政府ノ回答ヲ促スタメ國務長官……………六九三
ト会谈ノ件

八 二七八 十二月二十六日 露領水産組合員堤清六ヨリ
堤経営漁場ノ罐詰工場及製品等差押……………二五八
事件解決ニ関シ報告ノ件

附屬書一

一九一九年十二月十日附露國極東漁業庁長官及同庁事務
局長ヨリ堤清六宛通知書……………二五八
一九一九年十一月二十九日附極東漁業庁判決書下付ニ関
スル件

二 右判決書写……………二五九

一七 六四七 十二月二十六日 六四〇 在浦潮松平政務部長ヨリ
居留民保護ノ為イルクーツク方向ヘ……………六九四
日本軍派遣ニ関スル件

一七 六四八 十二月二十六日 九〇八 在米國幣原大使ヨリ
西比利亜ヘノ日本軍増派問題ニ関ス
ル米國政府ノ回答遷延ノ事情ニ付報……………六九五
告ノ件

二 六七 十二月二十七日 公三三七 在桑港太田総領事ヨリ
台灣ニ於ケル日本学校ノ元教員米人……………六一
ノ反日的談話報告ノ件

二 六八 十二月二十七日 二二九 在桑港太田総領事ヨリ
加州知事ハ日本人問題ノ為ノ臨時州
議會ヲ召集セザルベシト観測セラル……………六二
ル旨報告ノ件

二 六九 十二月三十日 機密公
加州排日臨時州議會召集ノ有無ノ情
勢ニ関スル「ガイ」博士報告書ニ付……………六三
報告ノ件

一三 四一九 十二月三十日 政公信
墨国「オアハカ」州叛徒首領降伏ノ……………四三五
件

一三 四二〇 十二月三十日 政公信
墨国政府ノ調査ニ依ル国内叛徒ノ数……………四三五
報告ノ件

一四 四五三 十二月三十日 二六〇 在瑞西伊藤臨時代理公使ヨリ
シベリア問題ニ関シ日米兩國間協定
成立及日本カ勞農政府ト交渉開始セ……………四七八
リトノ新聞記事ニ付在仏大使ニ問合
ノ件